男女貞潔之理想　會長　島田三郎
公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

5－251

廓清

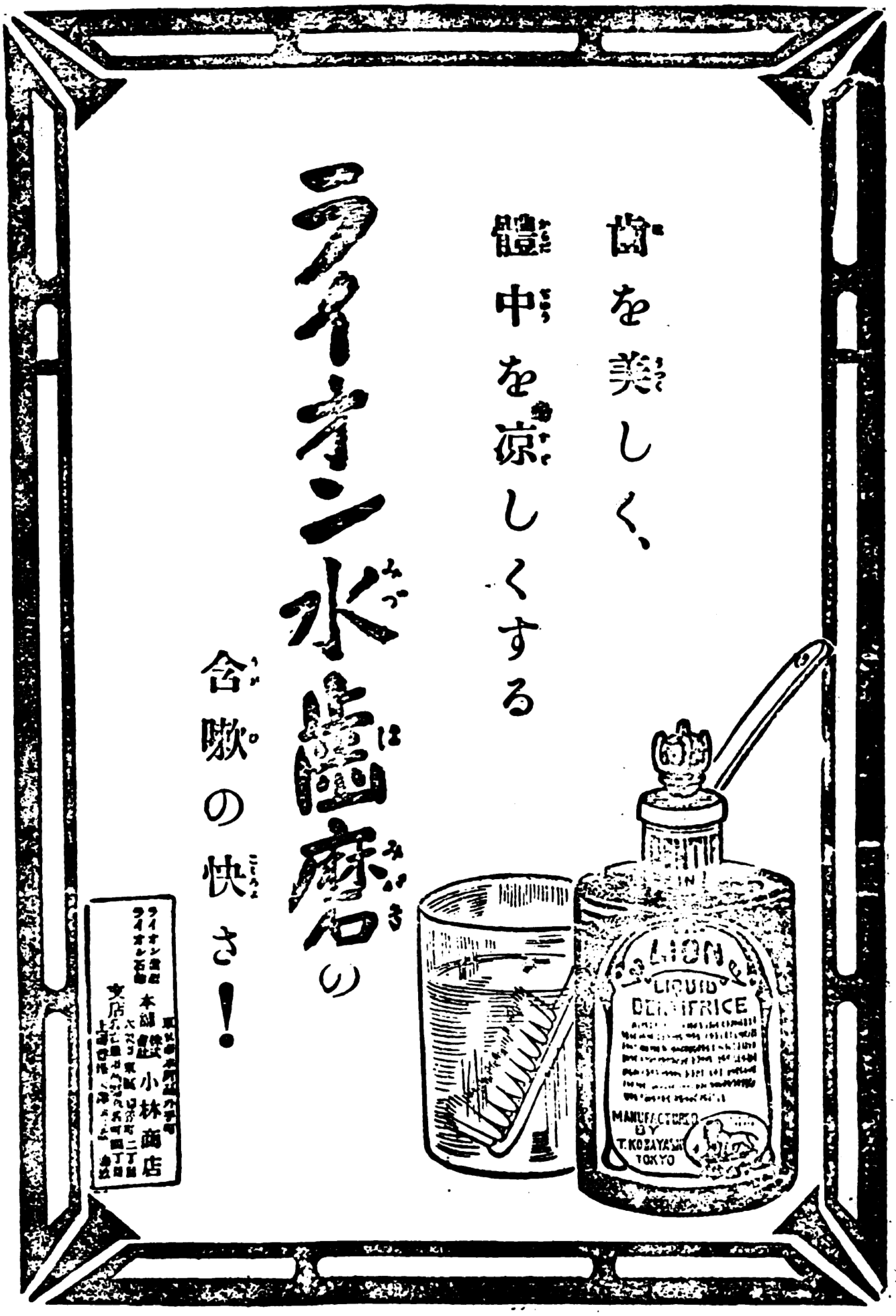
第九卷第八號

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可（大正八年八月十日發行）（毎月一回十日發行）

□廓清時言……伊藤江南
□唯物思想の危機……廓清會長 島田三郎
□日本將來の婦人問題……早大教授 安部磯雄
□性慾に對する態度……文學士 栗原基
□福澤翁の一夫一婦論……一條忠衞
□生活難調節策……法學博士 山脇玄
□支那排日の眞因……法學博士 吉野作造
□トランク事件敎訓……救世軍大佐 山室軍平
□酒造廢止の建議……日本禁酒同盟會長 安藤太郎
□夫の品行に苦む妻……はる子
□童貞を破られた惱み……三枝子
□娼妓病院手記（五）……看護婦 田口和子
□編輯局から……白萩生

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY


歯を美しく、
體中を涼しくする
ライオン水歯磨の
含嗽の快さ！
ライオン歯磨
ライオル石鹸
本舗 小林商店
支店
LION
LIQUID
MANUFACTURED BY
TOKYO

廓清
THE PURITY
大正八年八月
第九巻第八號

廓清時言

和歌山市會の公娼案通過

七月八日和歌山市會は疾風迅雷的に公娼設置案を通過したり。飛田遊廓設置によりて天下の誹謗を購ひたるは近く大阪の事なるに、青天の霹靂和歌山市に鳴動して、市民錯愕盛んなる輿論の反對起らんとするあるは蓋し當然の事なり。

今の世に、賣淫の公許場を新設せんとする案が、堂々議事に上り、而も之を通過するが如きは餘りに甚しき時代錯誤なり、抑も和歌山縣は、嘗て群馬埼玉と共に廢娼縣たる光榮を有したる處にして、惜しい哉唯一ヶ所新宮（外に一ヶ所設置せしも直に消滅す）復活してより其の榮譽を失ひたりと雖、なほ殆んど廢娼縣に近く、且つ和歌山市は廢娼市として心ある市民の誇りとなし來りたる處、而も衛生の實績を統計に徵して、隣接諸縣と比較するに實に左の如き好成績を有す。

府縣別	人口千人に對する娼妓	壯丁千人中花柳病患者	府縣別	人口千人に對する娼妓	壯丁千人中花柳病患者
大阪府	二、七四	三三、八	奈良縣	〇、八三	二六、三
京都府	二、六六	二八、四	三重縣	一、九九	二三、四
兵庫縣	一、二二	三〇、〇	和歌山縣	〇、二四	一九、七

殊に新宮町に遊廓を設置したる際、同地に從來四十人の私娼ありしに、一度び九十人の公娼置かるゝ事となるや、忽ちにして私娼は百二十人に殖え、公私兩娼を合せて二百十人の多きに上り、風紀頓に頽廢したるの事實は、和歌山市民諸君の耳目に尙ほ明かに殘れる筈とす。吾人は今更さまり切つた廢娼論を繰返すの煩を避け、右の事實のみを擧げて同地市會の反省

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

を促し、市民諸氏の發奮によりて此の昭代の汚辱を埋沒したらんやう努力せられん事を望んで止まず。

近松の貞操觀と戀愛の進化

文豪近松の戯曲を通讀して巣林子の貞操觀を覗ふに、青年の男子に貞操を全く缺きたるは元よりなるが、婦人にありても、貞操とは一人の男に對する心中立と解され、處女の純潔てふものに對しては何等尊敬を拂ふ處なかりしが如し、假へば戀愛の成立は如何にも簡單無雜作にして、一目垣間見て、男らしき男若くは容姿秀麗の男とし思へば、そが何處の誰なりとも、そんなことには一切頓着なく、松下蔭も厭はず草の褥も嫌はず、忽ち其の節操を破らしむ。されど一度節操を許すや、之を唯一の所天と奉じ、如何なる權勢金力と雖も最早決して彼女の節操を侵すことを許さず、凛として秋霜烈日の態ありて前後全く別人の觀あり。

茲に於いてか吾人の飜つて思ふは如何に戀愛すべきかてふ事也。濫りに戀愛を排斥して如何に戀愛すべきかを説かざるが故に、今日の結婚生活は圓滿幸福なる能はず、近松もの丶如き野合なほ存して、而も三婚四婚を恥とせず、蹈々物質に趨つて賣淫的結婚の流行するを見る、眞に痛歎ずべし。今後の男女には須らく戀愛の自由を認むると共に如何に戀愛すべきかを敎へよ。即ち倫理學の批判により人格的價値を第一義として戀愛せしむるやう誘導すべし。如斯んば道學先生と雖も贊同し來らむは必せり。

無氣力無能なる日本婦人

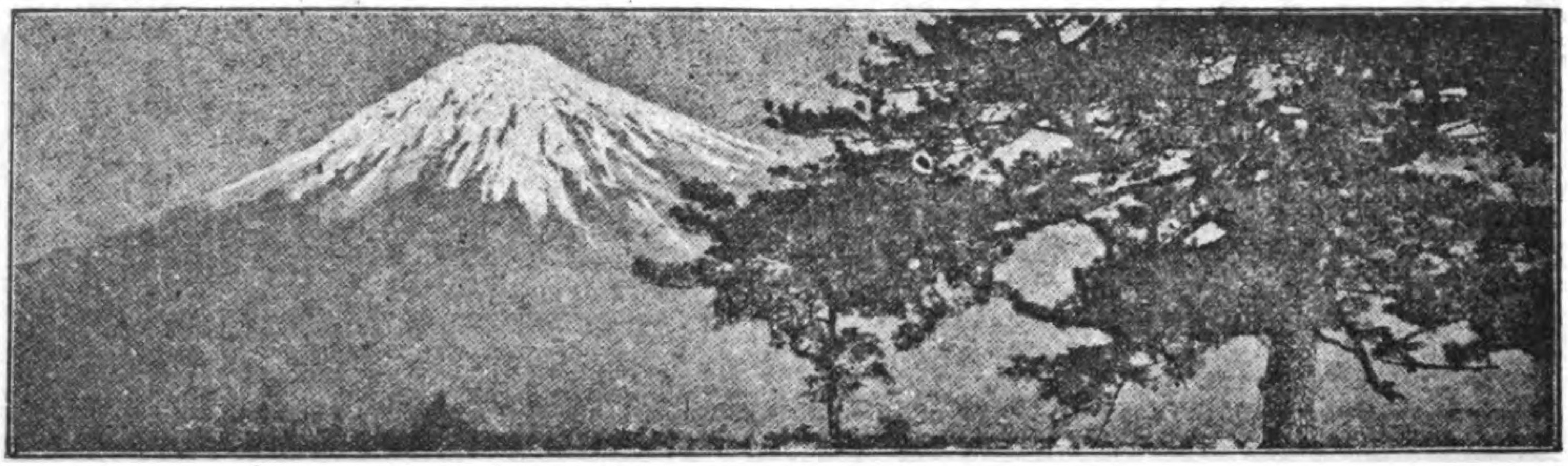
我が廓淸會は、去る七月一日活動寫眞を應用して男女道德鼓吹の演説會を催したるが、該寫眞中人買の爲めに誘拐せられたる一婦人が、私娼窟の一室に投ぜられて始めて之を悟り忽ち猛烈なる抵抗を試み、花瓶、皿の嫌ひなく手當り次第に投げつけて。遂に男を辟易せしめて其室を去らしめたれど、鍵を以て戸を閉したれば遁れん道なく、彼女は遂に椅子を逆しまに振上げて窓硝子を粉碎したり。

此の激しき物音に折柄巡邏中の警官怪しみて階上に驅け上らんとしたるに女將は巧みに之を欺き去らしめたるが、此間に彼女は折角男を振つて窓硝子を微塵に破碎したれど外に更に頑丈なる鐵構ありて遁れんやうなく、途方に暮るる折しも嘗て同じ運命に陷りて今は私娼の群に投じ居れる一人が、わが過去を懐ふて同情に堪えず、密に救濟會に電話にて報じたるより、警官隊の活動となりて救助せらる映畫なり。

之れを我國の婦人と對照するに、斯かる場合に果して如何なる態度に出づべきか、日本婦人も亦勇を振つて抵抗格闘し、椅子を奮つて窓を打碎くの快擧に出て得るやといふに、日本婦人ならば恐らくは長袖に面を掩ふてよゝと泣き伏すのみならん。唯泣いて哀憫を求むるより外はなくて、虎狼の呑噬する處ならざるなし、何等の無氣力何等の無能ぞや。

更に新派の芝居や活動に表はるゝ婦人を見よ、男子と物語をなす時は、男が立ちて女は蹲むを常とす。男と同樣に立つてゐては女らしくなきなり、其歩むやちよこ〳〵と小走りか然らすんば嫋々として蓮歩を刻ましむ。悠揚濶歩せしめては敵役なら兎も角、同情を引かしむる女とはならざる也。之れが新日本の半を擔ふ婦人かと思へば淺ましとも悲しからずや「女と侮り無禮致すな」と懐劍を拔いた舊劇の婦人の方がまだ戀しく賴もしゝ。（江南）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



唯物思想の危機

廓清會長　島田三郎

□政治法律に對する過度の依頼

東洋の人は政治法律を恃むことその實際の價値よりも高きに過ぐる。改革と云へば立法行政の機關の改革を意味して、其背後に立法行政を左右する大切なるものゝ存在を忘れる人が多い。國民を基礎として其の自由の活動を重大視する政治觀察者は、比較的政治法律を輕んずる英國の狀態すら、尚ほ過度の價値を政治法律に置くと冷笑して居る。更に之を日本の現在に見れば、此の古き思想の横溢せるを感ぜざるを得ぬ。

明治維新の改革は政治の改革であつた。政治法律を改革すれば社會は一擧して革正せらるゝと意見が行はれて萬事進行したのである。其の結果は憲法の制定となり法典の編纂となり行政規則の實行となつた。然れども社會の形勢は是と逆行して、政治法律の機關が比較的疎漫にして且つ不整頓なりし時代と、今日政治機關の完備せる時代と對比して犯罪は、却つて今日の方が増加し、其の犯罪の性質も是等の機關を動かす人々の間に浸入して頻々怪報を傳ふるに至り、政治法律を頼み過ぎたる人をして失望せしめて居る。

□一世を驚倒したる黃金禍

試みに過去十餘年間に起れる重なる事件を擧げんか、人の智徳を進むべき大切な教育界に教科書事件の犯罪があつて、徳育を司る人々が破廉恥罪に問はれた。日糖事件があつて立法に與かる人々が牢獄の人となつた。若し之を精密に調べたならば表に現はれたよりも遙に多數であつたのは勿論である。立法部のみに止まらずして行政部にも罪人を出だしたであらうが、情實は是を暗中に葬り去つた海軍問題は其の犯罪が勢力家特に金錢に淡かるべき軍人の間にあつたので、内外の耳目を驚かした。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

是等は其の著明のものであるが、各地方に起り又起らずして止んだものを審査する場合あらんか、蓋し其範圍と件數は計り知るを得ぬ程であらう。

更に最近兩三年間人を驚かしたるものを擧ぐれば、何れも行政の局に當つて法規を運用する人が却て其法規を潜つて公事を私利の目的に濫用したことが甚だ多いのである。九州に於ける製鐵所及び鐵道礦山關係の當局者が實業家と結托して習慣任の賄賂を永く實行して居つた事件は、表面に暴露されて一世を驚倒した。親任官にして自ら悔ひて自殺する人もあつた。博士號を有して巨萬の賄賂を納め、投獄せられ追徵せられた人もある。是に關聯して紳商と呼ばれ位階勳等を有する人々や、爵位を有する人の親屬まで此の渦中に卷き込まれて入獄の身となつた。

□怪報頻々病毒全身に遍し

如斯は過去に其例少くして近年に續出する新しき現象である。法律は其の事の行はれた跡を追責するか、是を未然に防ぐの力は乏しいのである。京都府に表はれた事件は府の行政官も市長も市府の議員も其他市府の屈指の豪商も、府會市會を汚毒して一齊に有罪の處分を受けた、是を單に京都府のこと〻見てはならぬ。京都府の公民を責むるのみでは不公平である。若し人爲法を適用せずして神の裁判を下さんが、此種の犯罪は流行病の如く各地に遍滿して居ることを發見するであらう。愛知縣に於ては衆議院議員がその政黨の力を利用して遊廓地を指定せしめて私腹を肥したとの事件があつて政黨間の問題となつた、これも單に愛知縣のこと〻して其人のみを責めてはならぬ。各地に大同小異の事件が行はれつ〻ある。唯その司法官の手に取扱はれたると、僥倖にして是を遁れたるとの區別あるのみである。横濱に於ては市營の瓦斯局の骸炭を安賣して六七年引續いて不當利益を占めた爲めに瓦斯局當事者と是に關連した市會議員が有罪となつた。其の骸炭を安く賣つた重役は愛知縣から選出せられた政黨員の衆議院議員であつて有罪の爲めに失權した。

更に茨城縣になほ審理中の事件は、多額納稅者が投票を賣買し、選擧競爭が迫り詰つて一票一萬圓に至つたと傳へられて居る。多額納稅者と云へば單に財產家といふばかりでなく、必ず地方に於ける由緒ある名家であらう。此人々が貴族院議員となつて、自己の意見を發表して政界に寄與するとの抱負もなく、單に貴族院の一椅子を贏ち得て、虛榮を俗社會に衒はんとする卑しむべき動機より、平生

財貨に執着する低劣の觀念を虛榮の憧れに轉用した事件であつて、贈る者も受くる者も金に不自由なき身にして此の嗤ふ可く卑しむべき行爲に出てたのは、何ものを語るのであるか。此徒は社會の萬事は金で解決されるとの信念に立つ人である。金の價値を過信する人なるが故に、自巳の爲めに直接の利が無ければ一圓十圓も世の公益に寄與する念慮は缺け居るが又意外に直接の利益には千萬金を不當に使用することなるのである、乍併是を以て茨城縣の人々を評するは不公平である。これが現代を支配する、特に富豪の多數を支配する信仰であつて、その思想が偶茨城縣に暴露したに過ぎぬ。曾て石川縣にこれと類似のことがあつた。之を要するに公の犯罪を構成すべき百中の二三が表面に現はれたに過ぎぬ。

□市民の生活を脅す瓦斯問題

東京に於ける瓦斯値上の問題もその進行の徑路は極めて奇怪である。瓦斯の値上を提議して段々に批評を經るとその基礎が殆んど煙の如く見える。果して値上すべき理由あらば數字の問題として證明すべきて、其の値上の標準も一定すべきてある。然るに其理由なるものは正確に研究せられずして多數の頭で密會或は不意打と樣々の變化を經て遂に瓦斯會社の重役が辭職することゝなつた。其會社は專賣的性質を帶びて居り、瓦斯其物は市民日々の生活に必須なること水道の水の如くてある。さなくとも物價騰貴の爲めに市民が生活を脅威せらるゝ今日に於て、此問題は米問題と殆んど類似する如き大切なものであるのに、市民を代表する市會の議員が、道理に依らずして情實に之を決せんとするは、その裏面に例の現代社會の流行病たる金錢利益の關係の潜在を疑はるゝは決して誣妄ではない。此の瓦斯會社の株主には世に知られたる富豪もある。市の公人もある、教育家として知られた人もある。何れにしても多數の市民の如く生活に脅かさる人ではない而も此等の人が主として妄動して憚らざるは、眞に唾棄すべきものであるが、これ亦單に東京市の事のみでない。流行病の一端が本件に就て表はれたのであつて、日本の社會を犯せる病毒の偶發と觀ずるを至當とする。國政を議する者の間にもあり、地方政を議する者の間にもあり、町村政を議する者の間にもある。金力即權力、黃金萬能の信念は今や靡然として、都鄙を擧ひ一世を掩ふに至つた。農商務省の技師某の怖るべき犯行も亦、此思想の產物に外ならぬ。

□不義の富者は純潔の貧者に如かず

さらに玆に注意すべき一事がある。斯の如く忌むべく嫌ふべき事件の發現ある其裏面には必ず酒色を媒介となる醜怪がある、而してその問題は多く藝娼妓の出沒する宴會の間に私議せられ、其の計劃の會場は遊廓に非ざれば、即ち待合である。要するに人心の奧底に秘めて私利私慾の熱望が、賄賂となり犯罪となり淫猥の行爲となつて、因緣纒綿して社會を汚毒するのである。

燎原の勢を以て社會を侵す此流行は、法律を以て杜絕することは出來ぬ。法律その物を評議する人が法律を破るの主人公となつて働き、法律を實行する人が其の共同者であるか

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ら立法行政の力を有効にする力が微弱である。十年二十年以前を思へば斯の如きことは直に新聞紙上の問題となつて、彼等は新聞紙の攻撃を恐れたものであるが、今日は金錢があらゆる階級に潜勢力を逞うするが故に、新聞紙の攻撃も金力の強き者の上には往年程の勢力を振はぬかの觀がある。如斯にして止まざれば社會は此流行病に壓倒されて歸する處を知らざるに至るであらう。根本は實に信念の問題である。不義にして富み且つ貴からんより、正を守つて良心を滿足することが人生の幸福であるといふ氣風が起らねば之を匡ふことは出來ぬ。

昔者武士が此氣象を維持して社會の清涼劑となつた、今日は武士も社會の變遷と共に其の種族が倒れたと共に、其の意氣も殘留せざることゝなつた。今より以後は宗教の信念と道德の勢力とが奮ひ起つて不義の富者は純潔の貧者にも及ばぬといふ新らしき思想が流行し來らねば社會は益々汚下するを免れぬ、此の純潔の背景があつて始めて政治機關の効力を全うすることが出來る。今日は社會の危機である。志ある者は沈思瞑想して此點に救濟の方法を求めねばならぬ。物質上の生活を脅かす現代は元より危機であるが、同時に精神上に人心を脅かすは更に深き一世の危機たるを三思せねばならぬ

□安達謙藏氏と米國記者□

——(婦人選擧權問題に就て)——

本年四月二十六日發行の米國『ウーマン、シチーズン』に左の如く面白い記事があつた。

「東京の代議士安達謙藏氏は、其秘書兼通譯たる會津常治氏並に木村駒子及び其夫たる木村氏同伴て本社を訪問され、誠に愉快な談話を交換せられた。

安達氏の冷靜にして考深き質問は此の日本の政治家の頭に泰西に於ける婦人參政權の現勢が、如何に響き居るかを示して頗る興味あるものである。

(一)米國の南部諸州はその他方の諸州に比して、何故婦人參政權の到來が遲いか。

(二)眞實の理由は人種の相異に起因するのではないか。

(三)英國婦人は、何故昨冬の選擧にセツト投票場裡に行かなかつたか。何故セツト議員にならうとしなかつたか。何故今少し多くの婦人候補者が當選しなかつたか。

(四)米國では夫人の選擧人が其夫と同じ候補者に投票した數が判つて居るか。又其反對に投票した統計表があるか。

右等の同氏の質問に對して我々は第一は、吾人の愛する此國の南部が他方に比して後れて居ることを是等外國人に說明することは、頗る困難であつた。然し吾人は之れが南部の傳統及び各州、權限に關する僻見等に源因するものである事を最も力說したが、之れが日本語に譯せられて話さるゝ時、如何に響いたかは天之れを知るのみである。それが英語で話される時は、確かに亂暴に聞へたのである。また之れが我國の上院で說明される時は、毎時も亂暴に聞ゆるのは吾人の常に知る所である。

英國に於ける婦人の選擧人の件に關しては、吾人は實際に於て、比較的に驚く可き多數の婦人が投票した事實を極說した。同時に吾人は英國婦人の少數が候補者として立ち、且つその爲めより少い婦人が當選せし事實に關し、英國婦人の選擧權を獲得せし眞の目的は婦人自ら代議士たらんとする慾望よりは、寧ろ總ての國民の爲めに善き政府を得んとするにあつたことを信ぜん事を訪問者に注意した。

米國婦人の、妻として夫と同樣に又は反對に投票した數に關する統計は、未だ出來て居ないが、我國に於ける均しき經驗によれば、妻が假令其夫と同樣なる候補者に投票して、之れが二重になるとも、彼女自身の希望を彼女自身の有する投票によりて表示するの重要なる事は、夫が己が希望と己が有する投票權によつて表示するの重要なる事と、同樣な事を吾人は安達氏語ると同時に、假令夫妻が選擧場裡に於ては、互に相異る意見を有するも、彼等の家庭に於ては互の權利を尊重して、何等嫉む可き軋轢なき事を同氏に告げた。

安達氏の質問が終ると、吾人は代りて衝も質問を發したが安達氏の答は中々啓示的であつた……

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日本將來の婦人問題(一)

經濟會副會長　安部磯雄

□緒論

婦人問題の中心點は婦人が男子と同等になると云ふ所にある、男子と女子とは本來差別はない筈である。男女同權とは古い言葉であるが、過去に於ては斯くの如き言は一種激越の思想の如く思はれたかなれども、今日は短刀直入に之れを云つても差つかへない、而して世界は日に〳〵さう云ふ風に進みつゝあるのである。予は先世界が如何に男女同等に向つて進みつゝあるかと云ふ二三の實例を語り、次に我國婦人界の現狀をのべ、之れに向つて論議を試みたいと思ふ。

□教育上に於ける男女の平等の大勢

教育上に於て、男女か平等の地位にまで進んだ事は極めて新しき事實である。

例へばアメリカに於ては一八三〇年代までは男女は教育に於て差別的であつた。一八四〇年頃オハイオ州のオベリン大學が創立されし際、女子のために同大學の開放を叫んだ人もあつたが、女子に高等教育は不必要なりとの議論勝を制して、遂に同大學は女子に向つて門戸を閉ぢた。今日東部の方にはマウント、ホリヨーク、ウエレスレー其他多くの女子大學があるが、是等は當時の輿論に飽き足らずして、女子は女子のみの大學を建設するの必要ありとして起つたものである。

兎に角米國に於て八十年前までは女子は男子と同樣に高等教育をうくる事は出來なかつた。然らば今日は如何と云ふに今日米國の諸大學は何れも女子を男子と同等に待遇して居る彼等婦女子は全然男子と同樣に取扱はれ、學位や其他の特權も、凡て男生が享有する所のものを享有して居るのである。之れは獨り米國に止まらない。英國でも佛蘭西でも又獨逸でも歐洲の文明國は皆教育上に於て男女を同等に認めて居るのである。

我日本は昔のアメリカのやうに女子の大學が二つある。外に官立では高等師範學校が二つある。而して東北大學が女子のために門戸を開放して居る。東京、京都の大學は文科に限り女子に聽講を許すと云ふ說があるが、まだ實行せられてゐない。

私が特に遺憾に感ずることは現內閣が多額の費用を投じて多くの高等教育機關を增設したに拘らず、女子に向つては一個の教育機關をも設けなかつたことである。之れ男女を同等に見ざる偏頗なる措置であつて、爲政者が女子を眼中に措いてゐない證據である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

乍併教育に於ては我國でも最も早く女子が男子と同等に取扱はれるやうになるてあらう。之れは婦人に於ける諸問題中最も容易に解決せらるべき問題てあると信ずるのてある。

□經濟上に於ける男女の平等

男女の經濟問題とは職業問題と云ふに外ならぬ。職業と云へば是迄は男子は男子、女子は女子と云ふ風に區劃され得るものと考へられて來た、然るに之れは謬れる考へてあつて、職業に於ける男女の境は全く撤廢せられ、男と女とは同様の事業に從事することゝなつたのてある。今日歐洲ては特に戰爭以後に於て男子の爲すことにして婦人のやれぬ事は全くないと云ふ有様てある。辯護士、教師、牧師は勿論、英國の如きは官吏にすらも婦人を任命する有様となつた。此點は歐米に於ては非常なる勢ひを以て進みつゝある。

唯だ不思議なる現象は報酬に於て男女著しく不平等なることてある。此點は世界各國共通の現象てあつて、例へば小學校教師にしても、全く同じ技倆を有し、同じ資格を有する人て、女たるが故に、五圓なり十圓なり低廉なるは事實てある。資格の上に又能率の上に男女相違あるならば夫れは正當てあるが、全く同様てあるのに、女子が低廉なりとは甚だ不道理なることてある。

之れに對する世人の解釋が亦頗る不條理てある。曰く、男子は家族を扶養する義務があるが、女子は斯種の義務を負ふてゐないと。之れは毫も理由とならぬ。何となれば、此筆法で行けば男子と雖も家族扶養の義務なきものは女子と同等の報酬を受くべきき筈なるに 決してさう云ふことなきのみならず、男子間に於ても家族の有無と云ふことが報酬を定むる標準とならず、技倆とか能率とか云ふことが其標準となつてゐるからてある。之れを要するに女子は、努力の如何に拘らず男子より低廉なる報酬をうけつゝあることは現代世界の状態てある。而して其理由は上述の如く理由をなさぬ。故に吾等は經濟上に於ける女子の地位を向上し、女子も亦男子同様能力を標準として報酬を定むるに至らしめればならぬ。

幸にして今回の媾和會議を期とし巴里に於て萬國勞働會議が開催せられ決議案九ヶ條の中男女の報酬を同等にすべしとの一ヶ條を議定した、故に我國に於て男女の報酬を區別しても今後は世界が之れを許さぬ。されば此點も年を追ひ改善せられ、教師、會社員、工場勞働者等に至るまで必ず相當の報酬を樂しむ時が來るてあらう。予は此の點に就て樂觀するものてある。

□法律上に於ける男女の平等

法律上男女平等と云ふことにはいろ／＼な問題があるてあらう。今左に一々の場合に就て述べて見たい。

(一)親權に於ける男女の不平等

我國に於ては親權は父に有るのみて母にはない。故にもし夫が放蕩無頼な人てあつて、離婚となつた場合、子供は夫に屬し、妻は之れに向つて何等の權利を主張することは出來ない。之れは我國法律の缺陷てある、子供に對して父母は同等てあらねばならぬ。何となれば、前例の夫が放蕩の場合、子供を夫に屬せしむるは子供のため幸福てない。此場合、扶養教育の權利を母に任ずることは、獨り子供の幸福なるのみならず、一家の幸福てあり、引いて社會、國家の幸福てある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

故に母には親權を有せしめ、父がその資格なき場合には母が之れを行使するやうにせねばならぬ。親權が男子にのみある社會は決して幸福なる社會ではない。而して之れは離婚の場合に於て殊に子供の不幸であつて、世には夫に對して絶望しながら、子供のために離婚し得ないで苦しんでゐる婦人が多い、之れが親權が母にもあつたら、子供をつれて離婚した方が子供のためにも母親のためにも幸福である。

私の知れる婦人に、夫が放逸遊惰にして家事を顧みぬため自から働いて夫を養ひ、子女を教育して居る人がゐる。彼女は云つてをる。

『私は婦人は經濟的に能力さへあれば、婦人は離婚して獨立し得るものと思つてゐたが、之れは間違つてゐました。婦人は經濟力があつても、法律上に於て不平等の地位にあるために、よし自活の力はあつても、子供の爲めに離婚と云ふことは出來ません。』

と。之れは現代日本の婦人の眞實なる告白である。法律上の男女平等と云ふことを考へずして、婦人問題を解決することは出來ない。宗教家は兎角法律問題を等閑に附する傾向があるが、此種の問題は婦人問題解決の最大要件である事を忘れてはならぬ。

(二)離婚に於ける男女の不平等

歐米の法律に於ては、夫が姦淫を行ふ時には、妻は離婚を訴ふることが出來るが、我國の法律は、夫は妻の姦淫を理由として離婚することは出來ても、妻は夫の姦淫を離婚の理由とすることは出來ない。之れは實に片手落ちの法律である。男女の不平等之れより甚だしきはない。されば矢島矯風會頭が此法律改正の請願を議院に提出したことは約二十年も前で年々歳々之れを繼續提出して居るが、日本の代議士は男ばかりで之れを議案として討議し決定することは、自繩自縛の窮窟な思ひをせねばならぬ所から、依然として之れを默殺して居る、夫が姦淫の理由を以て妻を離婚するを許すならば、妻も亦姦淫の理由によりて夫を離婚するの權利を認めねばならぬ筈である、然るに男子が斯る法律の改正に馬耳東風なるは勿論、婦人自身が之れを僅に矯風會の運動に一任して、沈默を守つてをるのは怪訝にたへざる次第である。斯かる狀態に甘んじて、何等覺醒を叫ばざるは、世界に對しても誠に恥しき次第である。

(三)財産上に於ける男女の不平等

財産も男女同等に權利を有するもので妻の財産は妻の財産として、法律が保護しなければならぬ、夫の財産は法律の保護の下にあるが、妻のものは法律が之れを認めないやうでは今日のやうに相當の理由なきものに難癖をつけて離婚さるゝ場合に、妻たるもの丶不幸は眞に同情すべきものである。此點も是非共男女が平等になるやう改正せねばならぬと思ふのである、現代日本の婦人が往々正當の理由なくして離婚されて此の慘酷なる仕打に懊惱苦痛し居るのを見ては私は、衷心切に男女が平等の位地になるやうに改正したいと思ふ男女の不平等より來る婦人の立場に同情するものである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

性慾に對する態度

第三高等學校教授 郭清會評議員 文學士 栗原基

一 人の慾情の理想化

支那の王陽明と云ふ學者は「山中の賊を平げるのは易いが、心中の賊を平げることは困難だ」と申した。これは人間の慾情の至つて執拗で、之を制することの容易ならぬことを教へたものである。これは苟くも普通の人間なら誰れしも多少心付く所のことであらう。「意馬心猿」などと云ふ言葉も、情慾のいかにも熱烈旺盛で且狡猾なことを言つたものである。謂はゞ人の心は動物園のやうなもので、其處には種々な猛獸野獸が檻の中に這入つて居る。併しどんな獰猛な動物でも、嚴重に檻の中に入れて置けば、決して恐ろしくはない。そこで我々は之を抑えるために理性の力を發揮する、これは恰も人間本來の野獸性を收める鐵柵のやうなものである。又我々は道德や宗教の力を籍りて更に此の野獸性を柔順にし、何時でも立派な役に立てるやうにするのも、甚だ大切なことである。これまでは無暗に人間の情慾を抑へたり殺さうとしたりした人々も多かつたが、それは却つて害があつて益がない。猪でも手飼ひとすれば豚となり、又澤山の家畜が今盛んに人間の助けをなすやうになつたのも、何よりも善い參考である。

人間の本能は元來獸性を帶びて居れどもこれから貴い品性か作り出されるのである。品性の高い人と云ふのは、十分の修養と鍛錬とによりて、慾情を淨め志操を鞏固にして、人らしい生活を營む人である。斯かる人から見れば、今迄自分を地獄に陷れんとした種々の慾性も、却つて自分を天國に導き行くものとなる。美はしい情感も妙へなる想像も、乃至高き理想や鐵石の意志力も皆其賜に過ぎないのである。

人には種々の情慾ある中に、最も强い者は性慾卽ち色情である、何となれば生命ある人に性慾がなかつたら、これ恰も枯木のやうなもので、誠に殺風景極まれるものとなる。「玉の杯底なき男」なんと言ふのも、萬更意味ない事ではない。「箱根八里は馬でも越せど、越すに越されぬ戀の關」と歌つたのも、何にも風流者の浮氣とのみ申すことは出來まい。戀こそは曲者、人生至難の關所は戀に如くはなく、此難關に處して其道を誤まらなかつた者こそ、眞の勇者と稱むべきであらう。「戀で通へば千里も一里」であるから、若し戀の勝利者となれば、人生の快事これに如くものはない、男女間の此烈しい誘引力を善用し、麗はしい人格の根柢を作れば、一生の幸福を來し、家庭の和樂となり、社會の進歩となり、人類の

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

發展となる。若しこれに反し、之れを惡用すれば、人類は墮落し、社會は暗黑となり、家庭は破れ茶碗のやうになり、個人は禽獸の有樣に退化する。

二 性慾と文明及び生理的解釋

性の問題に就いて最も大切なことは、先づ其意味を明かにし、これが我々との關係を誤りなく了解することである。之れを正當に會得しさへすれば、凡て人間の氣品でも美でも力でも悉く之れを握り取ることが出來る。近代文明の發展は實は其結果として現はれたもので、社交性、向上心、宗教心、詩歌と藝術乃至種々なる美感は皆其處から發して來る。

愛情は人間の精神活動の最高最大の者で、其本を糺せば性慾の發達したものである。親の愛、友の愛、男女の愛、美を慕ふ心、神靈に對する信仰も其因つて來る所は性慾である。人間進化の第一條件は全く愛情の完全なる發達に依らなければならぬ。

世の文明が性慾から起つて來たと同じやうに、我々個人の發達も性慾の御蔭を受けてる事が決して尠くない。近頃醫學上の最大發見の一つは男性美や女性美の發達を促すものは、要するに生殖腺なる者が血液に作用する結果であると云ふことである。例へば男子にありて、凛として犯す可らざる威容、鐵の如き筋肉、精悍なる意氣、百折不撓の勇猛心、天に冲せんとする向上心、靄然たる社交心、其他科學的研究心と發明力の如き、悉く男子の生殖腺の作用によりて起れるものである。それ故に若し生殖腺が小供時代に損はるれば、一人前の男子としての發達は中止するか、或は餘程激しい影響を蒙ります。女性に於ても亦これと同じく女性美の最も完全なるものは、つまり生殖腺の恩惠に依るのです。

進んで性慾の生理的解釋を一言致さんに、性慾の根本は生殖機關である。性慾が起ると云ふのは、外部及び内部の生殖器、殊に生殖腺の發達（男子ならば睪丸にある生殖細胞、卽ち精子の生成及び射出など）の結果です。靑春期卽ち男女十五六歲に至れば、生殖機關の發達極めて盛なるが故に、性慾の盛んなことも陽春三月に百花爛漫の光景を呈するやうなものです、生殖腺からは精液が分泌し、それが内分泌となれば血液に入り、普く諸臟器組織に働きを及ぼし、皮膚筋肉にまでも影響する。これが前述の男女兩性の肉體及び精神に特色を與ふるものである。

最う一つ外分泌と云ふものがある。卽ち精液が自然に或は人爲的併びに病的に體外に洩れ出づることである。此等の分泌作用が盛んに行はれる丈けそれ丈け性慾も盛んである譯である。

併し今日では性慾を以て單に生殖機關の働きのみとは見ないで一方腦髓の作用に因ることゝ考へて居ります。それ故に睪丸が除かれても、性慾は止みません。生殖腺の内部泌作用が腦髓の中樞に刺戟を與へるか、或は一の觀念が此中樞に興奮を起させるかによりて、人間の性慾が働くものと考へられるのです。

三 性慾と健康に關する誤解

性慾の目的は生殖である。これは生物界の原則である。それ故に性慾を正しく用ゐて子孫の繁榮を求むることが造化の

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

靈妙なる計劃に從ふことになる。併し折角貰い「生命の實」を味ひ却つて之れを濫用したから、今日の如き淫風吹きすさぶことになつたので、これは誠に殘念なことである。それで若き人々は成るべく性慾に關する多くの誤謬を避けて、出來る丈け公明正大なる道を辿らなければならぬ。

一、或人は性慾の滿足が健康上必要であると考へてゐる。そこで未婚の青年男女は性慾發動の場合には手淫を行ふか非配偶的に肉交を求めなければならぬ事になる。併し今日の醫學は未だ學理上から其必要に對する何等の說明を與へず却て次の如き決議文が米國の一流の醫者三百六十人によりて署名された。

「制慾が健康を害すとの俗說が廣く世に行はれて個人と社會とに危害を與へつゝあるに鑑み、且つ都會の公娼制度が時に此謬說に基づきて公認せられつゝあるを見て、下記署名の醫師一同は制慾は健康又は元氣を害すとの事實の認められざること、制慾は決して最も高尚なる體力知力及び道德的能率と矛盾する證據なきこと、並びに制慾は結婚以外にありて、性的健康を全ふする唯一の安全法なることとの信仰を表示するものなり。」

之は決して一時の氣慰めの道德論でなく、十分研究を重ねた後に發表した醫學者の正直なる告白である。又一方にありて制慾は單に學者の冷靜なる學理上から見て健康に害がないと云ふのみでなく、幾多の實例と經驗に徵して見ても其眞實なる事が分るのである。尤も制慾と云ふても我等の心から此慾情を全く根絕すると云ふのではなく、人間らしい理性と意志力とによりて出來る丈け其情慾の跋扈を抑え、又不當な性慾的行爲を犯さない樣にするのである。

二、青年期に於て屢々安らかなる睡眠を妨げるものは夢精と云ふもので、之が起るのは或は艷夢に依ることもあり然らざることもある。此精液洩出は健康體にありては一週間乃至四週間に一回位起るもので、別に心配すべきものではないこれがために多少疲勞を感じても左程憂ふべきことでなく、謂はゞこれは自然の安全瓣と見て差支ないであらう。併し若しそれが餘りに頻繁となり著しく身體衰弱を覺ゆることあらば、それは病的症狀であるから、十分注意しなければならぬ。

三、或人は睡眠中或は偶然の局部摩擦のために陰莖の勃起するのを、非常に心配することもある。これも普通の健康體に起ることが殊に膀胱に多量の尿液が溜まるとか身體が溫か過ぎるとか又は便秘などに原因する。但し淫事に思ひを廢らし手淫其他の不當行動によりて生殖腺に過敏な刺戟を與へることは甚た宜しくないことである。これがために陰莖勃起が常習的となり、次第に精神朦朧になり、意志薄弱となりて、何時しか憐むべき低能兒となることもあるである。

四、屢々性慾發動のために輾轉反側して眠り安からざることとあるのは必らずしも恥づべきことではない。緊張し切つた性慾が盛んに熱火を擧げるのは、健康體の賜物である。問題は此際猛烈無比の魔軍に對抗し、能く其誘惑に打勝ちて身の潔白を守り得るや否やにある。兎も角、青年は性慾抑制の健康に害なきのみか、人格樹立の根本要件であることを深く信じなければならぬ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

福澤翁の一夫一婦論を評す（三）

一條忠衛

更に數字の標準を高めて三人としても四人としても、その一人の差なるものは何故に再婚の理由となるか、些も根柢のない議論にはならぬか。故に『同時』とか配偶者の死とか『年齡の差』かと云ふ概念は一夫一婦の規定に關しては何も重大なる要件では無いので、是等の理由には成り得ぬものでは無いか、此等の道具立は再婚の可否を決する尺度には成らぬでは無いか。然らば福澤氏の謂はゆる再婚の大自在法なるものは、洵に一個の大なる獨斷には終らぬか。氏の一夫一婦論は此等の疑問に對して何等の說明を與へて居ないから、氏の直觀した一夫一婦論も終にその內容の杜撰なる考察の爲めに、完成されぬ思想となり、幾多の缺點を有する獨斷的教訓に止まり、男女道德の根本的法則としては、尙ほ修補一番するの必要を感ずるのである。

結婚の目的より觀たる一夫一婦の道德

福澤氏の一夫一婦論に一大難點を生じたのは、つまり男女の自覺、男女同等、男女兩本位、戀愛及び結婚に關して、統一的の說明が出來てゐない結果であつた。殊に氏が結婚の目的に關して其の道德的意義を鮮明にしなかつたことが主たる原因である。卽ち結婚の目的に關して古來如何なる見解が行はれて居たかを批判して其の最も正しい說を揭げて一夫一婦の性質を論定しなければならなかつた。それから夫婦なるものは一面に於ては協同生活の契約によつて生ずるのであるから、其の夫婦契約なるものは道德上又は法律上如何なる意義を有するかを明かにして、其の效力の範圍を確定して置かなければならなかつた。次に謂はゆる偕老同穴又は一蓮托生と云ふ東洋の思想と一夫一婦と云ふ西洋の思想との文明史的關係を明にして、此の東洋の思想が結婚の目的に關する正說より見て、夫婦契約の上に如何なる意義を齎すかを穿鑿しなければ成らなかつた。さうして配偶者の死亡した場合に、此の一夫一婦の道德的意義に如何なる變動を生ずるかを見んが爲めに、先づ夫婦を人格的戀愛によつて結婚せる夫婦と無自覺的に結婚せる夫婦との二種に分けて、然る後に此等の二種類の夫婦關係に就いて結婚の目的の上に如何なる結果を來たすか、又た夫婦契約の上に如何なる效力を生ずるか、又た偕老同穴の上に如何なる影響を及ぼすかを審究しなければならなかつた。福澤氏は此等の內面的批判を試みなかつた爲めに、氏の一夫一婦論に矛盾を生じ、獨斷を交へて、終に牽强附會の講義に終つ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

たのである。余は之れを是正する意味に於てその大要を述べて見たい。

◇　◇　◇　◇

先づ結婚の目的に關して古來より何れの民族にも描かれた思想は生子說と云ふのである。これは子を生むことを結婚の目的にする說である。換言すれば種を蕃殖するため、種を改善するため、家系を繼續するため人口を增殖するためと解するのである。けれども此の說は一面の眞理を捉へて居るが、一面に於ては明に誤つて居る　何となれば結婚なるものは其の行爲の結果として子を生むことを豫想するけれども、結婚當事者に就いて考へて見るに子を生まぬ夫婦であつても結婚生活を繼續して居る場合が多い。例へば子の無い不具の若夫婦とか又は老夫婦とかの如きである。此等の夫婦の結婚生活なるものは、決して子を生むことを目的として結合して居るのでは無い。何か吾人の人格に於て偉大なる精神的の大目的の下に結合して居る。夫婦は決して子供を生むために使はれる子供製造會社では無からう。斯かる動物的生活の外に人間としての或る高貴なる目的を有して居る。生子說の誤りは一に此の點に存する。それで此の生子說によれば、配偶者の死亡した場合には子を生むことが出來なくなるから、直ちに第二の配偶を得て子を生むことに努力せねばならぬので、隨つて再婚の必要を生ずる。さうして生子說は子の人員を限つて居るのでは無く、却つて蕃殖することの出來るだけ多く蕃殖し、人口を增加することの出來だけ多く增加することを以て結婚の目的に適ふものとするのだから、例へば七人の子を有する四十歲の女子でも其の夫の死亡した場合には忽ちそこに再婚の必要を生じ、七人の子を捨てゝも他に嫁がなければならぬ事情を生ずる。**けれども斯かる場合には多くの女子は七人の子を捨てるに忍びず、却つて其の家を守り、再婚せずに新に子は生まずに、寡婦を以て生涯を送るのである。是れは取りも直さず、人間として或る偉大なる精神的生活を內面に有つて居るからである。それて生子說か配偶者の死亡を以て再婚の理由とするは誤つて居る。これは福澤氏の再婚論にも認められて居ない。**

◇　◇　◇　◇

次に結婚の目的に關して能く描かれる思想は肉慾滿足說と云ふのである。これは結婚の目的を肉慾の滿足にあると見るのである。けれども此の說は根抵の極めて薄弱なもので殆ど論ずるに足らぬものである。何となれば、肉慾といふ色情の滿足は決して結婚によつてのみ得らるべき性質のものでは無く、藝娼妓又は男妾女妾によつて之れを得らるるのである。然らば何を苦んで結婚するの必要があるかと云ふことになる。若し藝娼妓又は男妾女妾を弄するの資が無いために結婚すると云ふにあるならば、彼の富貴なる者は結婚する必要が無い道理であるが、彼等が實際に於ては貧者よりもより多く結婚して居るのは如何なる目的からであるかと云ふことになる。それて結婚の目的なるものは肉慾滿足以外に他に卓然として仰ぎ視るべき人格的な至上目的を有つて居ることが解る。換言すれば結婚の目的には斯かる快樂主義的な要求以外に合理的な要求がある。そこで配偶者の死亡して場合を考へて見るに、結婚の目的を肉慾の滿足に置く說から推せば、生理上から考へても數旬ならずして再婚するの必要を生ずるので、屍を葬るに遑が無く、墓の土の乾くを待つの餘日が無い譯である。更に之れを別言すれば、其の配偶者が死亡しても吾人は尠しも哀しむ必要が無く、之れを惜しむの理由が無く、却つて欣々然として新しい肉慾滿足器を求めて之れを弄すべきでは無いか。然るに人間には須臾も離るべからざる高貴なる靈性が存するから、斯かる動物的慾望以外に其の死者に對して之れを哀悼し、之れを悰暢して我が肉慾を問ふの遑が無いのである。それて人間として道德的觀念のある者は配偶者が死亡しても、肉慾の滿足を目的として再婚する行爲は之れを卑しむのである。福澤氏の再婚論に於ても斯かる主張は爲して居ない。然るに實際の再婚者の心理を忖度するに、肉慾の不滿足より來る空房の寂寥に原因するやうである。福澤氏が『婦人の年齡が四十五十にも達して、加ふるに小供の數も多からんには寡を守りて家に居るべきなれども、僅に二三十以上まだ四十に足らぬ身を以て寡居は甚だ宜しからず』と云つて居るのも、歸するところ此の空房の寂寥を思ひ遣つた言葉であらう。然るに實際の事實から推せば、男女を問はず二十三十にして配偶者を失つた者よりも四十五十に及んで之れを失つた者の方が、寡居の苦痛を感ずることが多い。是れは若い者は若い純な思想が豐であるが爲めに死者に對する同情愛着の念が強い所から貞操を固守せんとする人格的な要求が高いに反して老人は常に肉慾的な不純の精神に墮し易く動もすれば獸的に傾く廉がある。その結果として老いたる親達は若い娘が夫の死を悲しみ草庵に寡居することを反對して、無理遣りに再婚させて高貴なる精神的生活を殺すの例が少なくない。福澤氏の再婚論も畢竟するところ此の老婆心に外ならないので、宋人のその苗を助くる**に類する者である。**

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◇　◇　◇　◇

次に結婚の目的に關して之れが子を生むことにも置かず、又た肉慾の滿足にも置かず、只だ自身の經濟的生活に置く說がある。即ち結婚の目的は自己の衣食住に關する經濟的境遇を造るにあると見るのである。換言すれば結婚の目的は米櫃を求むる爲であると解するのである。殊に今日のやうな資本本位の經濟社會に於ては、此の說は大に流行して金錢財物を以て結婚の主要件とするに至るのである。此の說の誤つて居ること に就いては、余は『男女道德論』の中に力說して置いたが、結婚關係を單に金錢であると解し、經濟的生活を以て結婚の本體を看做して、それて夫婦の結合が永續し得ると思ふは極めて皮想の考へてあり、且つ獨斷の甚だしい者である。若し夫婦の結婚關係が金錢の價値によつて見積り得らるゝならば、物價の騰貴によつても其の結婚に恐慌を來たし、貨幣の下落によつて其の結婚に恐慌を來たし、借財を生ずるに至つてその結婚は全く價値を失ひ、夫婦は直ちに離婚しなければならない。況して衣食の爲めに結婚するを要するならば、却つて結婚せずに淫を鬻いて自由に世を渡つた方が得策であつて、經濟的恐慌の打擊を免れることが出來る。然るに世人は之れを嫁つて手鍋下げても厭はぬ生活を歎美するので、結婚の目的なるものは決して衣食を得ることにあるのでは無く、他に尊貴なる大目的を有して居なければならぬ所以である。そこて配偶者の死亡した場合に就いて考へて見るに、生活說から行けば乃ち米櫃を探す爲めに眞劍に再婚しなければならぬことになる。殊に女子職業の解放されぬ社會に於ては、寡婦は生活の爲めに再婚せざるを得ざる事情に陷る。けれども生活を保證し得る再婚の國とてさう多く轉がつて居るもので無いから、生活に困る多數の寡婦は妾ともなり、醜業婦ともなるは自然の成行てある。併し乍ら斯かる事實を理由として以て生活說より再婚を肯定せんとするは誤つて居る。何ぜかと云ふに事實なるものは必ずしも常に眞理では無い。況して寡婦が生活の爲めに再婚するは、夫のために身を遊里に賣ると同一てある。その動機に於て忍びざるものがあつても其の結果に於て之れを憎まざるを得ない。生活の手段は之れを他に講じて、再婚せざるを以て淑德の鑑とすべきてある。福澤氏の再婚論に於ても、生活の爲めに寡婦に再婚を許して居ないのは是れが爲めてある。

◇　◇　◇　◇

次に家庭說と云ふのがある。結婚の目的を家庭の成立に置くのである。即ち家庭を造つてその樂園の中に生活することを以て結婚の目的とするのである。此の說は以上に述べた諸說に優つて結婚の目的に對してやゝ理想に近い何者かを捉へ得たやうな感じもする。けれども此の說も少しく熟考する時は、その裏面に頗る怖ろしいものが潜伏して居ることを發見するてあらう。それは配偶者の死亡した場合てある。この場合には此の家庭說から見れば、家庭の團欒を續ける爲めに再婚するの必要を生ずるのである。殊に妻を失ふた男子が再婚を敢てする場合には

家庭向の新運動法

丁抹人ミ氏　の考案

△皮膚其他を旺盛ならし▽

丁抹國人　ミュルレル氏の考案になれる運動法は皮膚肺消化の各機能を旺盛ならしむる上に於て最も適當、且つ進步した運動法で殊に家庭向きとてよろしい尤もこの運動は日中汗の出る時は不可能で早朝試みねばならぬ、設備としてはキャル股一枚あればよく、運動の順序を左に

第一は身體を伸ばす運動、胸を張る運動身體をグル〳〵廻す運動で之は先兩手を腰に當て頭を後にし胸を張り上體に後に屈しそれから臂を左右に擧げ、それと同時に踵を上下し、次で踵を上げ臂を左右に擧げ膝を屈伸なさい（數回練習）

第二は脚を伸ばして前後に蹴る運動で片脚十六回づゝ

第三は仰向に臥して體の上部を起したり倒したりする運動（十二回）

第四は體を左右に廻し又之を左右に曲げる運動（十回）

第五は兩臂を左右に擧げて輪を描く運動（十六回）

第六ば仰向に臥して輪を描く運動上下とも（八回宛）

第七は體を前へ屈め左右に廻し又後に

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

多く此の說に立脚する。彼等は再婚の理由として遺兒の養育及び家政の整理と云ふ語を以てするのである。此等の必要の爲めに再婚するとは再婚男子の好んで言ふ所であつて、蓋し傳統的常習であると見て能からう。自己は外に出て丶國家社會のために活動するのであるから、齊家の爲めには必ず後妻を迎ふるの要があると云ふのである。けれども是れは思はざるの甚だしい者である。何となれば、家庭なるものは夫婦に其の子を加へて成立した血族的な社會を指すのである。それで妻が死亡したならば、父と子とを以て家庭としなければならぬ。然るに生物學的に何等の關係の無い他家の女子を迎へても其處に家庭を生ずる道理は無いであらう。單に堯舜時代よりの惡習たる繼母繼子の關係を擁護して、母ならぬ者を母と爲し、子ならぬ者を子と爲し、其の生さぬ仲に無理な孝道を擬して人倫の自然を害するのみである。此の無用の道德のために舜ですら三十歲まで惱まされたことは傳說として吾々の熟知する所である子の養育の爲めに敢てする父の再婚は子の爲めには却つて不幸の種となり、天を欺く罪は遂に繼子いぢめとなり舜にあらざる限りは繼母いびりと爲ること古今の通弊であり、古來御家騷動の源である。それで子の養育のためには近親の血族者を選ぶか、又は乳母や家庭敎師を聘して任ずべきである。此等の要求の爲めに結婚する事は理由を爲して居ないことて、殆ど要領を得ぬものである。殊に此の家庭說に於ける再婚論の一大謬見は、家內勤務と結婚とを混合した點である。遺兒の養育又は家政の整理は家內勤務であつて、結婚行爲とは何等の關係が無く、沒交涉のものである。結婚行爲なるものは男女の性的行爲てある、靈肉に於ける結合てある。遺兒の養育又は家政の整理の爲めに結婚するとは、何等の意味も爲さぬことである。强ひて之れに意味を與へようとすれば、牽强附會となり、詭辯となり、竹に樹を接いだの滑稽を演ずるのみである。更に之れを女子の方面から考へて見たならば何うであるか、他家の遺兒の養育又は家政の整理のために結婚するとは、抑も何を意味して居るのか、其の結婚の眞髓を捕捉するに苦しむ次第である。

反らす運動（十回）

第八は兩臂と兩足とにて俯伏になり背を屈伸する運動並に背を反らす運動（十二回）

以上八種の運動をしてから沐浴をなさいこれは原則としては冷水で時によつては微溫湯、冷水摩擦法（鹽を一握り入れる）に代へてもよいそれからタオルで身體全部を一通りお拭ひなさいその後次の樣な摩擦運動をなさい

第九は足、背の上方、頸及び頭の摩擦

第十は臂、肩、腋の下、胸の摩擦（十回）

第十一は體を後と前とに屈げ、胸、腹、背の下部、腰、臀部、脚の後方並に前方を摩擦する運動（十六回）

第十二は體を左右に屈げ一脚を伸ばし他脚を屈げ腿の筋方、體の下部と胃、横隔膜附近を摩擦する運動（左右各十宛回）

第十三は體を左右に廻し同時に臂を廻し一方の手を以て下方に押し他方の手を以て背と腰とを摩擦する運動（左右各八回宛）

第十四は一方の手にて橫に押し他の手にて體の側面を摩擦する運動（左右八回宛）それから脚を交互に左右側に擧げ同時に他方の手を以て上體の側方を摩擦する運動（左右各八回）

第十五は片膝を擧げ脚の兩側を摩擦し次に體の前面及背の下部を摩擦する運動（左右十回）

第十六は體を左右に曲げ體の側方を摩擦する運動（左右十回宛二十回）

第十七は體を左右に廻し同時に胸の全部を摩擦する運動（左右十回宛二十回）

第十八は體を前後に曲げ體の前面及腰を摩擦する運動（十回宛二十回）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

生活難調節策

法學博士　山脇玄

□富の不平等より來る社會の狀態

生活難は今日の社會に取つて痛切な問題であつて、社會全體の協力に依りて解決を要する處のものである。然るに生活難は社會全體の人に同時に同樣に進んで來るものでなく、財產なくして働かねば衣食が出來ない境遇に居るもの、卽ち今日の所謂無產階級を襲ふものである。其の無產階級には痛切な問題として感ずるけれど、有產階級は廻り廻つて自分の方にも襲つて來るものとは豫想するものとしても、差當りこの苦痛がないから敢て切迫な問題とも思はず、自分の屬する社會に困窮者の多い事に、自分が贅澤我儘をする事との間には何等の關係がない、自然當然のやうに考へて生活難等は自分の知つた問題ではない、自分に之を解決する責任はないと思つて無頓着に冷淡に看過して居る風がある。啻に冷淡に無頓着に看過する許りでない。食へなくて困つて居るものを成る丈け安い給料で傭入れ、成る丈け多く勞働をさせる。其の狀態は宛から無產階級と云ふものは有產階級の利益の爲め働くべく生れて來た器具であるかのやうにして、自分とは人種でも違ふかのやうに考へて居るらしく見える、有產階級の邸宅は宏大であるけれど勞働者のそれは九尺二間である。有產階級は滋養分を取るけれど無產階級者は疎食で益々疲勞しなければならぬ。有產階級者は各種の衣服を流行に從て作るけれど無產階級は卽ち印半纏で滿足する、有產階級は休息、睡眠、娛樂等の自由があるけれど無產階級は左樣のものを必要とする譯にいかぬ。斯う數へ來れば限りもないが隨分懸隔が甚だしいと思はれる。

□富の分配の不平と二大原則

元來富の分配の不平等は財產私有と自由競爭とか、經濟上の二大原則をなして居る。現狀に於ては固より免かれない所である。然らば我國の分配は何うなつて居るか試みに所得稅に就て調査したのを見れば次ぎの如くである。

	五千圓以上	五百圓以上五千圓以下	三百圓以上五百圓以下
人員	一五、一四八	五六、〇四四	六七一、三四一
全員に對する百分率	一、二	四、六	五四、二
所得額	八八、六三三	四一、六二六	一九七、五四四
全額に對する百分率	二二、七	四一、〇	三六、三

之は稅法改正前の所得稅に對する統計である、が之に依れ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ば全納税者の僅々一、二を占むるに過ぎない富豪階級者が全所得額の一二、七を所有し全納税者の五四、二と云ふ大多數を占むる中產階級は僅に所得額の二八、三を所得し得るに過ぎぬ事が分る。而かも此の數字に現はれるものは、孰れも所得稅を納むる中產階級で我國の全戶數九千五百萬中の三割を占むる一小部分に過ぎぬ。殘餘の七割卽ち國民の大多數は最下級の所得稅すら納め得ない者のみなのである。以て我國も又歐米先進國に劣らぬ富の分配の不平等である事が解る、千八百九十一年に於けるマルホールの統計に依れば、英國の人口は三千八百八十五萬七千人にして、總財產は九百六十五億四千五百萬圓であつた。今何等の財產をも有せざる小兒の數一千七百九十四萬人を除けば、總人口の中三十二萬七千人の富者は八百八十九億四千四百萬圓を所有し、二百三十八萬人の中產階級は二十一億四千二百萬圓を所有し、千八百二十一萬人の下等階級は五十四億六千三百萬圓を所有して居る、卽ち富者は一人平均二十七萬二千圓、中等階級は九千圓、下等階級は三百圓を所有して居るのである。さうして各階級に屬する人數の割合を示せば人口千人に付き富者は八人、中產階級は六十一人、下等階級は四百六十八人、小兒は四百六十三人と云ふ事になる。之に依つて見れば人口千人に付き八人の富者が英國に於ける總財產の九割以上を所有して居る事が分るのである。

次に米國では何んなものであるかと云へば千九百年に於けるルシエン、サニトルの統計に依れば米國の財產總額は千九百億圓である。今十歲以下の小兒を除きて全人口に分配せられる財產を示せば左の如くである卽ち二十五萬二百五十一人の富者は千三百四十億圓、八百四十二萬九千八百四十五人の中產階級は四百八十億圓、二千三百三十九萬三千百七十三人の下等階級は八十億圓を所有して居る。換言すれば富者は平均一人に付き四十五萬五千九百四十二圓、中產階級は五千六百九十四圓、下等階級は三百九十圓を所有して居る。

更に飜つて我が日本の農業の方面を見れば卽ち其所有地に依る農家の百分率は

年次	三町歩以下	十町歩以下	十町歩以上
明治卅二年	九割三分	五分九厘	六厘
同四十一年	九割二分	五分九厘	八厘二毛

是に倚つて、我國農業の極めて僅少の部分を構成する大地主が多くの土地を有つてゐて、大部分の農家が所謂五反百姓の悲慘を味ひつゝあると云ふ一班は窺知し得やうと思ふ。最後に遺產相續額に就て見ても富の分配が大仕掛に不平等である事が分る。(明治四十三年末調査)

	五千圓以下	五千圓以上五萬圓以下	五萬圓以上
相續人數	二七、九三五	五、一六八	二四三
同相續人に對する百分率	八三、六	一五、七	〇、七
相續財產額	五四、五〇九	五九、七七〇	三八、二五一
同相續財產に對する百分率	三五、七	三八、九	二五、〇

卽ち同年に於ける相續人三萬三千人中八割五分卽ち二萬八千人迄は五千圓以下の財產を相續し而も財產の總額は合計五千四百萬圓に過ぎない。然るに一方富豪階級は僅々二百四十三名の少數ながら、各自五萬以上の財產を相續し合計三千八

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

百萬圓と云ふ多額の財產を繼承して居るてはないか。

近來は又物價が天井知らずに奔騰して居る。賃銀の騰貴率は之に伴はない。爰に於て勞働階級は勢ひ其の生活を脅かされざるを得ない事になつて來る。卽ち明治卅二年以來の一般物價及び米價の騰貴率を見るに

年次	物價	米價
明治卅三年	九九、五七	一一、九六六
同　卅七年	一〇三、三五	一三、二〇三
同　四十年	一一九、三一	一六、四二八
大正　元年	一三一、二八	二〇、九六二
同　七年	二八三、四三	三九、七七〇

卽ち物價に於て三倍の騰貴であつて米價に於て四倍の奔騰てある、所が賃銀の方は

明治卅三年	一〇〇、〇
同　卅七年	一〇七、五
同　四十年	一三四、一
大正　元年	一五七、二

卽ち物價とは粗ぼ步調を同じくして騰貴して居るけれども米價に比ぶれば御話しにならぬほど其騰貴率が低いのてある。無產階級が狼狽其の爲す所を知らざるも亦宜なりてはないか。

□現代は無產有產階級者の爭鬪時代

元來、社會全體が當然引受けねばならぬ問題を無產階級者が引受けて苦んて居るのてある。之れては何時迄も解決の見込が立たぬ、是非有產階級にも此の問題を分擔させなければならぬ。彼等にも大に反省する所あらしめねばならぬと云ふのて無產階級者が奮起して有產階級に迫つて來る。貧富の爭ひが爰に起るのてある。生活難の問題に無頓着な階級が社會に存在して居る場合には、必らず此の貧富の衝突が起るのてある。幕末から明治初年にかけて各地方に百姓一揆と云ふものが頻りに起つたが、之は凶年が續いて、小作農民等は糊口に苦んて居るに拘らず大地主や富豪が之に同情せずして細民の餓死を座視するやうな場合に、小作農民等が團結して之に迫つて反省を促す最後の方法であつた、筵の旗を翻へし竹槍を振つて無情な富豪や大地主の邸宅を破壞すると云ふ痛快な擧てあつた。其の結果、主謀者は官に捕へられて死刑にせられたが。尙ほ此の方法を繰り返したものてあつた。若し生活難の原因が領主の惡政にあつた場合には民權を主張せんが爲めに一身を犧牲に供して、直接將軍に訴へた。佐倉宗吾郎の如き卽ち其の一人である。或は大鹽平八郎の如く砲火を以て官に迫つた者もある。昔時は是等の方法に依る外、他に手段がなかつたかも知れないが、今日立憲治下に於て斯の如き暴行を爲すのは眞に暴民てあつて、唯社會國家を害するのみてある。そこが現代の方法として同盟罷業が出來尙ほ之に類する種々の巧な方法が用ゐられて居る。併し乍ら金力の向ふ所敵なしと云ふ今日の世に於ては、勞働者の地位を高むる事が却々困難てある。所謂勞働者のみてない、總て官吏敎師等の薄給なる者及び日々の勞働に倚つて渡世する營業者等は皆一樣に苦んて居る。昔の貧乏武家なども隨分生活困難な時代も

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

あつたらうけれども、彼等には幸か不幸か人類平等の觀念がなく、境遇に滿足するやうに階級生活の訓錬が出來て居つたから、困難を意識する事が尠なかつたであらう、今日の如く個人の自覺が進歩して人類平等の觀念が深く這入つて來ては生活難の意識も之に伴ふ不平煩悶も亦昔日の比ではない。そこで有志の人々は既に早く生活難の原因と其の救治策を討究して居る。救治事業の諸方法から勞働保險勞働組合等の諸政策は次第に研究の歩を進めて一方勞働者の自覺を進め、一方に政治の方針を改めんとして居る。併し是等專問家や識者の研究は生活難を切實に感ずる無產階級には歡迎せられるけれど、有產階級や政治家は矢張り冷淡に看過するので未だ實際生活の上には効果を生ずるには至らない。

□人間性情の改革と精神の進化向上

さうして其の研究者の殆んど總ては無產階級の同情者であつて、勞働組合の如きは社會全體の勞働者を人道の見地から保護して企業家に警戒を與ふる方策で金力の暴威を鎮撫しやうとするのてある。竹槍に代ふるに組合の力又は法律の力を持つて來ようとするので、文明式てはあるが貧富の戰爭たる事は依然として同樣てある。味方が熱心に戰鬪方法を研究する間に敵も亦益々熱心に研究する、一方が飛行機を發明すれば、他の一方ては飛行機の射擊を練習する、又一方は其射擊に對する防禦を攻究する。斯樣にして戰鬪は益々進化するけれど永遠の平和は遂に來ない。それも今日の狀態に於ては之れ以上根本的平和方法がないてはなからう。或は困難であるかも知れないが譬へ困難であるとしても、根本方法あるならばそれが實行を試みる方が捷徑である。譬へば國際間の平和を保つ爲めに相互に軍備を擴張するやうなもので、之れては永遠の戰爭をすると同樣てあるのに國家的偏見や人類的偏見を去つて軍備を撤廢すると云ふ根本的方法を取らないやうなものである。此の根本的方法は困難てはあるが各國が此の方針を進むならば早晚平和の目的を達するに相違ない。之に反して軍備擴張の方針で進むならば平和は永遠に來る時はない

貧富の爭も之れと同樣てあるから、爭ふ方法よりも爭はぬ方法を講ずるのが根本的てあつて捷徑である。爭はない方法と云ふも唯消極的に平和を保つのでなく、積極的に人間協同の實を擧ぐる事に勗めなければならぬ。人間協同の實を擧げた曉には貧富の區別がなくなつて、獨立對等の協力者のみの世界となる。吾人は一歩と雖も此の理想に進む事を勗めて行かなければならぬ、之が爲めには經濟上から政治の方面から研究して有益な敎訓を得ねばならぬ事は勿論てあるが此の事たる唯に經濟上、政治上の問題に止らず、實に人間性情の改革、換言すれば、人間精神の進化向上の問題てある人間精神の程度が今日の儘てあるならば經濟狀態が如何に變化しやうとも生活難と階級戰爭は決して已む時はない。根本原因を匡正せずして唯結果の改まることを求めたとて得られやう道理はない。

□近世產業組織上より見たる雇傭關係

性急な改革家は動もすれば根本原因を逆尋する餘裕がなく

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て一氣に目前の障害を排除しやうとするが、之も時に取つては華々しき感を與へ壯快痛快の感をも起すけれど、結果は必ずしも宜いとは限らない甚だしい害毒を流す場合もあるし偶々多少の良結果を得たとしても多大の損失が伴ふものである。血氣に逸つて戰爭の歷史を反覆するは悲慘な現象である根本原因を尋ねて之を芟除する方針は多くは華々しい外觀を有しないけれど、徐々として內部的に進行するから一步々々理想の境に近づく事を得て最後には必ず到達すると定まつて居る。

遠くとも派手やかならずとも吾人は實に此の道を進むより外はない。能く憂ひ道を求むる人は必ず遠い所を透視する力と手近い事柄を處理する力とを合せ持たなければならぬ。サテ前述の如く生活難の如き社會上の憂ふべき事實は社會全體の人が連帶責任を持たねばならぬ性質のものであるにも拘らず、一部の人が之を顧みざる爲めに人間協同の實力が擧らないのであるが、一部の人が何故に之を顧みないかと云ふに其の原因は貧富の双方が共に有して居る精神上の缺點に存する即ち現今の人類が有する共通の弱點に存するのである。其共通の弱點は一面より云へば我慾の增長で、他の一面から云へば人格尊重の念の缺乏で、一言で蔽へば愛の缺乏である。雇主と被雇者、富者と貧者、强者と弱者、官吏と人民是等は互に他方の人格を尊敬する念慮を缺いて互に自個の利益の爲めに他を方便として利用しやうと試みて居る。同胞相親んで共に人生の幸福を享けやうと望むのではなく、他人を一個の財物の如くに見做して、如何に之を利用せんかと苦心して居る。企業家が勞働者に對しては云ふ迄もないが、勞働者も亦企業家を目して自分の弗箱以上の品位を認めては居ないのである。互の關係が之であるならば如何に賃銀が殖へたとて勞働時間が減縮したとて、相互の生活が向上する事は出來ない或は今日の產業組織は規模廣大であつて企業家は多數の勞働者を雇用するから一々親密に交際して、昔の君臣主從の如き關係を結ぶ事は不可能であると云ふ論もあらうが、吾人も亦昔の君臣主從の關係の如き情誼を今日の工場に求めるのではない。譬へ夫れが望み得られることであるとしても、斯樣な奴隷的關係は決して望ましい事ではない。吾人が今日の產業組織に於て望む所は企業家たるものは幾千幾萬の職工を雇用しやうとも、夫れが總て人格者である事を認むれば宜い、彼等も自分と同等の人格者であると認むれば夫れて宜い。職工の方でも企業家も亦人格者であると認むれば宜い。さうして互に自分の人格に對して拂ふと同樣の敬意を拂へば宜いのである。或は其企業家が株式會社であらうとも苟も人格者が組合を組織して成立つたものに對しては、人格者同樣に敬意を拂ふべきてある。營利を目的とする株式會社等では、株主が總て營利を目的とするから重役も社長も總て營利を目的としなければならぬ、從て個人としては人情又は道德上到底なし得ないやうな冷酷な處置でも、會社としては遠慮會釋もなく實行する事が出來る。會社としては義理も人情もなく唯利益を圖らねばならぬことになるのが之が近世產業組織の特色の一つである。斯樣な事を以て特色の一つとする近世產業組織は速に改造を圖らねばならぬ時機に達した。

□新進青年の企業と人格尊重の涵養

譬へば職工が機械で負傷した場合でも其手當などは成るべく値切つて一錢でも多く株主に配當しなければならぬ。附近の人が煤煙の毒で如何に迷惑しやうとも法律の制裁を免れられる以上は之に頓着してはならぬと云ふやうな會社は、速に改革しなければ公共の安定が保たれないではないか、之は實は株式會社だから人情がないのではなく株主や重役の人格が劣等だからさう云ふ會社が出來るのである。人格の立派な人が株主になつたならば決して斯樣な會社は出來やう筈がない人間が互に尊敬し合つて居る會社であるならば、產業組織が何のやうに變化しやうとも如何に宏大なる工場が出來やうとも、決して今日の現狀のやうな、淺ましい狀態を出現しない道理である。經濟家の經濟的研究も宜いけれど餘りに經濟的方面に許り注目して人間を貨物以下に見做しての研究であれば總て無用の長物に歸する。人間相互の關係は人格の尊敬を缺いては其の他に如何なる方法を講じたとて總て皆徒勞である。今日の社會の生活狀態を救治する最も手近な方法は、企業家有產階級側の人に人格尊敬の念を養ふ事である、勞働者側からの反抗的忠告でなく、彼等の仲間から人格の價値を知つた人間が出て最も公明正大に事業を經營して以て模範を示して貰ひたいものである。最初の試みは失敗に歸しないとは限らない、否恐く惡企業家の妨害に倚つて好結果は收められないであらうけれど進んで犧牲となつて百代に範を遺して貰ひたい。老成の企業家は病既に膏盲に入つて居るから如何ともする事が出來ないであらうが、新進青年の企業家に對しては之を期待するも無理ではあるまい。何んでも今日所謂上位に立つ人から先づ人格尊敬の誠意を以て忠實に謙遜に其の本務を盡して貰はねばならぬ。但し慈善事業は御免を被りたい、慈善は少しも望ましくない獨立自尊の人に對して慈善を施すなとは無禮も甚しい吾人は所謂上位の人に對して決して慈善を請はない彼等は唯謙遜に彼等の本務を遂行すれば宜い

眞先に上位の人に勸める所以のものは今日の狀態では上位から始めるのが最も都合よく行くからである。勞働者の待遇は勞働者が改める譯に行かないから、企業家が改めて行かねばならぬ。下級官吏の俸給は自から增俸する譯には行かぬから上級官吏が讓步すれば宜い、世智辛い世の中に自分達許りが甘い事をしたとて名譽でもあるまい。高等遊民の如きも早く自ら改めて正業に就いたら宜からう、華族世襲の改革の如きも華族自身が先づ運動すれば宜い、此の事は別に珍らしい要求ではない。唯總ての人間が正に得べからざる財物や正に得べからざる權利丈けを見捨てれば宜いのである。

斯樣の議論や献策は頗る迂濶な机上論と冷評する人もあらう。然り今日の老成者に對しては斯樣の言を呈したとて何の效能もあるまい。夫れよりも同盟罷業を奬勵する方が效果が多いであらうか、之を將來に生命を有する青年企業家の良心に訴へて穩健に社會改良の實を擧ぐる事を希望するのは決して迂濶の事ではあるまい。先輩の頼むに足らざる濟度し難き現狀に驚異の眼を開き青年企業家は必ずや大任が自分の双肩にある事を悟り社會開拓の前途に光明を認めるであらう。

支那排日の眞因

吉野作造

▲排日運動の中心は上海の學生聯合會＝今度の排日騷動には深き根柢がある▼

今度支那に起つて居る排日運動は、從來の如く單純でなく深き根柢を有して居る。排日運動の本據は上海であつて、其の中心は學生聯合會である。學生聯合會といふのは主に北京の大學生であつて、官立の大學よりも寧ろ米國に拂ふべき團匪事件の賠償金を以て建てられた清華學校の方が多い。官立北京大學の方は何故少いかといふと、官邊と緣故があるから斯ういふ運動に割合に熱心にならぬ者あるを免れぬ。といふのも清華學校に比しての話であつて、兎も角北京には殆んど學生を擧げて上海に行つて居ると云つてよいのである。

今日の排日騷動には、隨分我等の憤慨に堪えぬやうなことも多い。併し乍らそれは悉く學生の意志ではないもと〳〵學生が全國に遊說して起つた騷ぎてはあるが、學生の希望した通りにはならなかつた。假へていふならば、永い間旱りてちよつとでも火が付けば忽ち燒ける樣な狀態にある時、一軒だけ燒からと思つて火を放つた處で、さう注文通りには行かない、何軒も類燒するに至るやうなもので、學生も此の程度て止めやうと思つても、騎虎の勢ひは容易に止まぬ。

▲日本人を排斥するに非ず、支那の官僚＝軍閥を尻押する日本の官僚軍閥を排す▼

その學生聯合會から一週間前日本の黎明會に書面を送つたといふ上海電報が新聞に見えたが、私を黎明會の代表者と見て昨夜私の手許に其手紙が屆いた。その手紙によると我々は日本人を排斥するのではない。支那の官僚軍閥を排斥するのである。而して之を尻押する日本の官僚軍閥を排斥するのである。乍併斯くいふと果して然らば日本の國民を敵視するんてないならば、何故ボイコットなどをやるのであるか、江戸の敵を長崎で打つ者と難ぜられても仕方があるまいと詰問せらるゝであらうが、實は我々支那人としては、這麼方法でもせなければ、日本の官僚軍閥が目を醒まして吳れないではないか。眞に止むを得ざるに出でたものである。どうかこれを諒として貰ひたいといふ事が書いてある。そして官僚軍閥を倒す爲めに提携したいと申込んで來たのであつた。

私共は是より先、學生聯合會と關係なく、現在もなほ排日運動をやつて居る人達と提携することが出來ると確信して或る運動を起した。排斥運動は五月四日で、北京の大學生から起つたのであるが、其前から一種の思想上の革命のあること

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

を心得てゐたから、今度の排日は決して從來のやうなボイコットに終るんでないと見込をつけ、向ふの運動の根柢には尊敬すべき精神があることを知り、既に一人の法學士を北京に派し二人の學生を上海にやつたが、また北京の大學の友人にも手紙を遣つて、日本の青年にも官僚軍閥を嫌ふ者のある事を説き、此の秋頃先方の教授と學生を呼び、思ふ存分云ひ度い事を云つて見やう、そして此方からも出掛けて意見を交換することにし度いといふてやつた。

▲日支大學の交換教授の交渉略成る＝排日の中心たる學生聯合會亦提携▼

或人には此の排日思想の甚しい時日本に來いといふても來るもんか、空想だと哂つたが、北京大學では教授が集まつて大贊成であるといふ。併し今は總長の蔡元培が驅援の責任を引いて辭職の形になつて居るが、同氏が居なくては到底大學の統卒は出來ないから近く復職を見るは明かで、同氏の復職を待つて具體的の細いことは相談に應ずる。併し學生を日本に送ることは到底六ケ敷い、今其麼話をしても學生の方ではとても對手にすまいといふ事であつた。

それから今度は向ふから積極的に、北京の三つ四つの學生の團體と新聞社とが聯合して、其の同じ思想が日本にもあるから、先以て日本に來て貰はうといふ交渉を、非公式に受けた。由是觀是北京の民間には、此の猛烈な排日運動の中にも日本の或る一部の人を呼んで話を聞かうといふ豫猶のある事が明かになつた。然るに更に學生聯合會から昨夜手紙が來た。此の上海の本據から手紙が來るといふ事は尙ほ一層重大な意義があるのであつて、彼等にすら日本の或部分と話をする豫猶がある事が分り、學生の方も適當の方法がつけば數名呼ばうと、今考へ中であるが、一面に於ては大に結んで共同の力で敵を挫かうといふ力が盛んである事を知るのであつて、彼等の運動には亂暴も大分あるが源を探ると私共の運動と手を携ふるを得ることが明瞭になつたのである。

▲日本籠絡中の張作霖孟恩遠張懷芝王占元＝日本參謀本部の横暴と外務省の無能▼

それでは一體何故そんなに官僚軍閥を排斥するかといふことになれば、支那や滿洲蒙古あたりに於て、日本人が何をして居るか、支那人には勿論我々の憤慨に堪えないことが幾何もある、支那の官僚軍閥といふものは日本が助けてゐるから辛うじて勢力を維持してゐるのだと彼等がいふてゐる。今の奉天將軍の張作霖の如きは、新民屯の宿屋の番頭であつたが過まつて人を殺し、それから馬賊の群に入り、日露戰爭の時に使つて功勢があつた。そこで日本では彼れを守り立てゝ居れば仕事が仕易いのであつて、日本の後援で彼は大威張りしてゐるのである。而して其爲め困るのは誰でもない支那人である。吉林將軍として目下問題の孟恩遠は、若い時天津で藝妓屋の妓丁日本の花魁道中に、花魁が男の肩を杖にして歩くが、あんな風に天津藝妓の送り迎へに肩を貸してゐた男だがやはり馬賊になり日本の保護を得て今日に至つた、日本では便宜だから彼を守り立てゝゐるのである。殊に張作霖には日本の菊池とかいふ中佐が大佐の顧問がゐて、一切の相談對手になつてゐるのであるから、支那では張をどうかしやうとし

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ても、どうする事も出來ぬ。それから山東の張懷芝の如きも日本軍閥の藥籠中のもので、目に一丁字もない男である。王占元の如きも名刺を遣つても逆さに見てゐるやうな男で、こんなのが今の軍人に多い。

斯ういふことは日本軍閥の爲めにはなるとも、支那の人からいふと堪へられぬ。太正五年四月十六日に起つた鄭家屯事件なども言語同斷で、日本の新聞にこそ出ないが外字新聞や支那の新聞には此時の日本の憎むべき謀計であつた事が詳細に明かにされてゐる。あんな事をするなら支那人が怒るのは當然である。其他言ふを憚る樣な事は枚擧に遑がない。皆日本の參謀本部の仕事で、外務省とは全く無相談てやる。第三革命の時南方を助けるのに、一時一緒であつたが、それ以外は參謀本部は勝手なこともやる。支那人から見るとそれも日本政府の方針で外務省の關知しない處だとは信ぜぬから、日本國家を恨むことになる。參謀本部が軍器を遣る爲めに今日何れも支那の戰爭は永びくのである。今の北方の政府は日本から金を借りて立つて居る。恰度金持の道樂息子に高利貸が金を貸すやうな有樣て、支那人が怒るのは尤もである。日本は今二億何千萬貸してゐるが、列國共同監理といふ事になつたから取れる見込がない。仕方がないから山などを取つても堀出さうとすると一揆が起つて手が付けられぬ。

▲南北相爭ふて解決の期なきは日本の罪＝北方に日本の援助なくば忽ち潰えん▼

南北の爭ひも日本が北方を助けるから起る、日本が助けなければ北方はすぐ潰れると彼等はいつてゐる。北方は政權を握つてゐるから、外國と金融の地に居るため、喧嘩となれば北方が勝つのである、北方の大將は段祺瑞で、次が徐樹錚、共に日本參謀本部のものである。文官の方では曹如林、陸宗輿、それから日本に公使として來てゐた章宗祥等である。西原龜三が乃公が行けばどうでもなるといふて威張るのは、曹如林なんかと關係があるからで、惡い意味の御用商人てある從つて曹が失脚すると大變だから、彼を擁護しては頻りに金を貸して利けやうとする。實は今度の學生騷擾は、徐樹錚を倒し度かつたのであるが、彼を倒すと大變だから止むなく反抗のない三人の文官に鋒先を向けた樣な譯であつた。

一體南方派北方派といふのは、革命の起りは廣東と湖南であつて、廣東を代表する者は孫逸仙であり、湖南を代表する者は黃興であつたが、今日は南方派と云つても吳景廉や上海の張繼は直隷の人てある。此頃過激派のやうに思つてゐる孫洪伊も北の人て、今日は南方派といふのはたゞ運動の根據を南に持つて行つたに過ぎぬ。

▲排日を米人の煽動によると爲すは誤＝支那靑年の進步は浮りすると一足先▼

排日運動が米國乃至米人の尻押に寄るといふのは誤解で、運動資金の如きも米人が出したといふ噂もあるが、それは極めて少額て、皆學生自身が食料其他を節約して自ら出してゐるのである。殊に女學生などは餘計に出してゐる。此頃米國の國務卿ランシングの排日に就て不思議がる人もあるが、彼としては日米共同宣言に贊成したのは寧ろ不思議て、彼が排日の尻尾を出すのは當然のことてある。支那に於ける排日の

親玉は元來ホスターであるが、ランシングは其婿でホスターの側に影の如く着いてゐた彼にして、排日たらずんばそれこそ寧ろ不思議である。王正廷や顧維均の調印拒絶も米國の煽動によるやうにいふが、王にしても顧にしても人に煽動されて動くやうな男ではない。だが併し米國としては『東洋の問題に就て、日本を唯一の發言權者たらしめてはならぬ』といふのは其の輿論である。

要之、排日は今度の戰爭の結果世界一般の思想の變動から學生の考が變つて來たにある。東京に來てゐる學生でも北方は殆んどない、騷動の起つた時も精々二三十人は止まらうとしたが、何千の學生は皆怒つて引揚げやうとした。今日は青年が獨立自發する形勢で、山東問題を機會に愛國的革命運動が起つたのだと思ふ。北京に派した人からの報告によると支那ではラッセルの本が一番讀まれるといふ。之は日本と同じであるが、次はヂウイを擔いでゐる。日本では餘り歡迎せられなかつた彼は、支那で持て丶又排日にならぬとも限らぬ。兎もあれ支那青年の進歩は、うつかりすると一足先に失敬するかも知れぬといふて來た。

▲支那浪人の起原と跋扈の結果 今は排斥＝
＝犬養氏も三十三年頃の支那通で今は分らぬ▼

序に一言しておくが、日本には支那浪人といふ者がある。これは日清戰爭以後に出來たもので、孫逸仙が二十八年に始めて革命を起した。日本で遠山氏などがそれを研究したのが起りで、三十一年に犬養氏などが關係するやうになつた。始めは人道的であつたが、犬養氏などは何か日本の爲めになるだらうといふので之を助けた。それから段々誰それと紹介する、野次馬が出るといふ風になつた。後藤さんが助ける樣になつたのは平岡氏の紹介である。何でも革命が成功すれば厦門を日本にやる約束であつたといふ。其内日露戰爭になり、黄興が日本に來て、之を孫逸仙と提携さして大同團結をやらせやうと策した。三十八年に坂本金彌氏の膽入で、中國革命同盟會といふ秘密結社が出來たが、實は既に孫と若い者との間には思想上の大きな溝がある事を氣づかなかつた。

日本に留學生を送るやうになつたのは、主として北清事變で外國に酷められたのが動機で、政治法律の方面、軍事、教育の方面と留學生を澤山日本に寄越したのであるが、それが又皆革命黨になつた。之れは衰へてゐる大國から、小國の盛んな日本に來ての反省から、革命黨になつたのであつて、全く愛國的動機に出づる。乍併、孫は理想家であつて、場合によつては足の一本位切つても理想を行ひたい。福建位は棄てゝもよいと考へてゐるが、若い革命家は指一本も切らせない猛烈な愛國心に燃えてゐる。從つて日本に對する態度も違つてゐるのである。

第一革命の時には支那浪人が黄には誰がついてゐるとか、曹には誰がついてゐるとか、彼は俺が世話した事があるとか、誰の世話になつたとか云つては、何か得しやうと思つて行つたが、それが段々分つて遠けられた。向ふでも世話にはなつたが國家とは別物だといふので敬遠する。さうすると忘恩だと云つて怒る。終始變らないのは遠山さん位で、今は其遠山さんも一寸誤解されてゐるが、それでも遠山寺尾あたりの處には報告に行くが、犬養氏あたりにはもう報告に行かない從つて何も分らない。昔の支那通は今の事は何も知りはしない。犬養毅氏が支那を知つてる積りでゐた處で、三十三年頃の話で。それを知らないで寺内さん抔が犬養氏を呼んで三十三年頃の支那通の話を聞かうといふのだからお話にならない

私は親日派と云はれてゐる人達は、實は日本の軍閥と親しいのであつて、我々支那を思ふ日本の國民の眞の友達ではないかも知れぬといふ樣なことを書いたのが知れた。尤もだと云ふので私に接近して來たのであるが、排日運動をどう始末をつけるかといふと、困難な問題であるが、向ふも困る時につけ込んで私金を取るといふ樣なことを止めて、正々堂々と交際して行く事にすれば親善の實を擧げ得ぬ事はないと思ふて、今や其第一歩を踏みつゝある處である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

トランク事件の一教訓

救世軍大佐　山室軍平

此間二人の農學士が共謀して大層殘忍なる人殺をしたことが傳へられ、世の人を驚かしたのであつた。彼等が此の樣な犯罪をなすに至つたに就ては、種々なる原因、誘因もあつたこと〻思ふが、こ〻に一つ見遁すことが出來ないのは、彼等の上に於ける損傳の勢力である、新聞の記事が間違はないならば、二人の中の一人は賤業婦の腹に出來た子にて、又一人は貸座敷の子であつたとかいふことである。世には立派な紳士の體面を飾る人にて、腹は借物だなど〻いひ、今でも如何はしい婦人を蓄へて、之を弄ぶものがあれど、其の結果は飛んだ厄介物を世に産み出して、相濟まぬ騷を惹起すこと、此度の山田某の如き場合がないではない。若し夫れ貸座敷の悴に道樂者、親不孝者、犯罪人、無頼漢等が出て來るのは、もとよりさもあるべき筈のことてある。

之は『善き樹に善き果を結び、惡き樹に惡き果を結ぶ』習にて實に止を得ぬこと〻言はねばならぬ。それ故子が可愛なら貸座敷營業のみならず、待合でも藝者屋でも如何はしい料理店でも、其他一切の不正業は之を廢業してしまはねばならぬ此度の殘忍なる人殺の事件は、それに就ての好き戒めてある。

さり乍ら、それては親から錄でもない遺傳を受けたものは、到底濟度の見込がないかといふに、決して然ういふことはない。英國にて最も舊く且つ最も調ふた感化院なる、レッドヒル農學校の校長ヴアインといふ人は、其の道の權威と認めらる〻人物であるが、一昨年私が其處を訪問した時の話に『世間では往々遺傳の勢力を大きく見過ぎ、惡い遺傳を有つた人間は濟度の見込なきもの〻如く考へれど、決してさういふことはない。神の靈の力は、遺傳の惡い人間をも改造するに餘りがあり、其事は君等救世軍の諸君は誰よりもよく知つて居らる〻處であらう』と、いふことてあつた。如何にも其通り、遺傳の力は恐しい程強いものではあれど。若し人が眞に罪を悔て基督に縋り神の靈の力を身に受ける時には、どんな良らぬ遺傳を有つた人物も、必ず改造せられて見違へる程の善人となり得べき見込がある。即ち聖書に『彼(基督)を接け其名を信ぜし者には、力を賜て之を神の子となせり斯る人は血筋によるに非ず、情慾によるに非ず、人の意によるに非ず唯神によりて生れし也』とあるのは、其意味を敎へたものである。それ故惡き遺傳を受け、良らぬ境遇に育ち好ましからぬ習慣を身に有つ人は失望することはない。來つて基督の救を受て御覽なさい。諸君にも濟度の見込は十分あるのてある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

米價調節に關し酒造廢止建議

日本禁酒同盟會長　安藤太郎

左は安藤氏が禁酒同盟會長として、去る六月原總理大臣、高橋大藏大臣、山本農商務大臣、床次內務大臣宛に提出建議せられたるもの、寫してある。

某等謹白す、近頃米價再び暴騰を來たし國民其生を聊ぜざるより。朝野共に之が調節策を講ずる是れ日も足ざるの狀況に有之、就ては廟議一日も速かに應急の御所置に出てらる可き事と存候へ共熟ら吾邦輓近米價の趨勢を考察候に。將來に於て價格復舊の見込は到底有之間敷して、幾回も騰貴の虞は免れ難き事と懸念被致候に付此際當局に於ても一時の姑息策に不止して斷然たる永久一定の方針に出てられ候樣、希望の至に堪ず。因て某等が多年の懸案に基き左に鄙見開陳可仕候。

表に農商務省が、發表に係れる本邦米の需要供給額に關する報告に據れば。大正二年より六年に至る、五ヶ年間の平均額は。

內地生產額	五四、三七〇、〇〇〇石
輸入額	一、四〇〇、〇〇〇
朝鮮及臺灣より移入額	二、〇二〇、〇〇〇
計	五七、七九〇、〇〇〇
輸出額	五二〇、〇〇〇
朝鮮及臺灣の移出額	七〇、〇〇〇
內地消費額	五七、二〇〇、〇〇〇
計	五七、七九〇、〇〇〇
差別生產不足額	二、八三〇、〇〇〇

前表の如く、外國輸入米は僅々百四十萬石にして、少しも憂足ふるに足らざるが如きも右は偶々大正三年より五年に至る三ヶ年間は。大豐作なりし結果に由るものにして、而して平常作とすれば日本領土內に於ける供給不足は一ヶ年二百萬石乃至二百五十萬石又凶作の場合には、約三百萬石とすれば差したる誤謬なしと云ふ。即ち本邦に於ける米の供給は前述の如く、約三百萬石の不足を告ぐるものにして、加之年々人口增殖の割合は六十餘萬人なれば此の不足高も、年々增加する言ふを俟たず然るに酒造の爲に年々消費する米穀の數量は約三百六十七萬石なるが故に、此の米穀を以て供給不足高を補塡する時は本邦は外國より米穀の供給を仰がずして自給自足する事を得べきや疑ひなし、今や一方に於ては市上米穀の缺乏を告ぐる今日に於て他方に於ては、三百六十七萬石の白米を消費して顧みざるとは矛盾も亦甚しと謂はざる可からず。又世間にては酒造税を以て國家の財源として重要視する者なれども酒税の國税中、重要の地位を占むるものは獨り日本のみならず何れの國に於ても同樣なるに識者は、此の重要なる酒税を措いて力を能率の增進と食糧の充實に盡す所以の者は、之を酒造に得るも他の冗費に失ひ結局損害益相償はざるが爲に有之候。元來酒造廢止の事たる今日の米價問題に對しては、焦眉の急に非ざるが如きも、來年度の財政準備に就ては、多大の關係を有するを以て、今日に於て御賢慮を煩はすは最も緊急の事項と被存候　此段奉申請候謹言。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

貞潔の悶え

茲に掲げたる數篇は、婦人の友の婦人煩悶號に掲載せられたものであるが、甚だ興味ある事實の訴へであるから、抄録して以て我等男女道德研究者の參考に供することゝした。

女のに道に迷ふ妻の煩悶

はつ子

私は當家から三里ばかり離れた田舍の農家に生れました。父は至つて物がたい正直一徹な人で、十幾年も獻身的に村長をつとめ、村人の少からぬ尊敬を集めてゐます。母は武家の出で、嚴格なしかし慈愛に富んだ人でございます。五人同胞の末に生れた私も、決して甘く育てられるやうなことはなく、まだ小學校に通ふ頃から母の話と云へば、女は節操を重んじなくてはならないこと、男子の多くは多情であること、人の家といふものは波風の立ちやすい思ひごとの絶えぬものだといふこと、一旦嫁した上はどんな苦しみにあつても辛抱しなくてはならないことなど、いつも姉達と一緒にしみじみと數へられました、煩瑣りになりましても芝居とはどんなものか話にも聞かされず、お花見の面白さなども想像して見るだけで、多情なものといふ恐ろしい男といづれは結婚しなくてはならない女の身の悲しさを思つて見たりしてゐる中に、いつか十九になつてしまひました。そしてその年の冬私の結婚がいよいよ事實になつたのでございます。先方の人物家柄に申し分はなし、いろいろに父が運動して樣々の方面から探りましても、暗い處は少しも出て來ないので、約束は遠くまとまり、例の恐しさに慄へながら、八年前の紀元節に、私は人の妻となつたのでした。

當家はその頃六十四歳の姑と夫との二人暮し、農家ですが鋤鍬をとるにも及ばず、働くことのない夫は中學から農學校東京にも二三年遊學して歸つてから、碁に讀書位を仕事にしてゐるのでございました。姑はごくまめな人で、氣分もなかなかしつかりとしてゐますし、少しばかりの野菜などを手作りにしたり、ヂッとしてゐることの嫌ひな人ですから、若い者のすることは何によらず眼にあまり、碁に夢中になつたり讀書に食事を忘れたりする夫はよく叱られるのでしたが、從つてさへ行けば別段氣むつかしい方ではないので、私は始めから從順なしをらしい嫁として愛されて居りました。今年七歳になる長女が生れた時など姑の喜びは非常なもので、初孫の世話に野菜作りも忘れてしまひまだ嫁ばなれのしない不器用な私を叱つたり笑つたりして母親らしく取り立てゝ下さるのでした。夫は子供の生れることをあまり好まないやうでしたが別に嫌ふでもなく時々はあいしてもくれますし、相變らず何も知らない、私を非常に愛してくれました結婚前の恐怖はわとなく消えて、母に聞いたことは皆うそのやうな氣がする程幸福でございました。私は又四年後に次女を生みましたが、その頃夫は重立つた人達から村の助役に推薦されました。村長が評判のわるい人でしたので、姑は不贊成でしたが、遊び飽きて何か働きを欲しがつてゐた夫は、進んで出勤することになりました。今思へばこれが私共に不幸の來る始めであつたのでございます

役場は宅から半里程へだつた町の入口にあります。朝に出て夕方歸り、役場員が五人でしたから、五日めに宿直が當るのでした。一年ばかりは無事でしたが、夫はいつか歸りの時間が不規則になり、やれ小學校の先生の送別會だ、やれ何の宴會だつたなどと、十二時を打つてから歸るやうなことが出來てきました、ありあまる財產を暫くの間に小さい町の料理屋へ入れてしまつて、今は退職になつたやうな村長が丁度使ひ盛りでしたからもしや一緒にと案じても見ましたが、はしたなく云ひ出しもならず、『交際なら仕方もありませんが、どうぞしつかりしてゐて下さい』とやつと頼みますと『心配するな』と夫は事もなげに云つてくれるのでしたが、五日めの宿直が四日めになり三日めになり果ては或る朝いつも出入りの吳服屋が『旦那樣の大島を持つてまゐりました』と云つて歸りました。『昨夜は

常宜でしたから、又來るか、何なら役場の方へ見せて下さい』と云ひますと小僧は變な顔をして『へー昨夜は役場へおとまりですか、今朝もしやと思つて前を通りましたから小使さんに聞きましたが今朝はまだお出ましにならないと申しましたよ』と云ひます。私は急に胸の動機をおぼえました。小僧をよい程にあしらつで歸してから、黑雲に閉された思ひで、終日ぼんやり暮へ暮しましたが、その夜更けに『今夜はどうぞあなたの秘密を打明けて下さい、今朝かう〳〵でした』と思ひ切つで尋ねますと、夫は暫く沈默をつゞけてゐましたが『びつくりするだらう、腹も立つだらうが、許してくれ』と前置して話し出しました。よもやと思つてゐましたのに、夫はもう或る藝妓と馴染を重ね、今は澄か〳〵深い仲で昨夜もその〇〇屋に泊つたのださうでございます。その時の私の胸中どうぞお察し下さいませ。押へても〳〵涙は止め度なくこぼれて、終夜まんじりともせず悶え明かしましたが、實家の母に聞かされたことは愈々本當になり、夫は間もなく少からぬ金を投じて女の身を浮かせ矢張り商賣はつゞけさせながら宿屋に住ませて、晝となく夜となく通ひます。『どうか暫く我慢してくれ、私もいつまでもこんなことをするつもりはない、これも何かの因縁だ』といふかと思ふと『もうどうしても彼の女とは別れられない、家はお前に頼むから子供を育てゝお母さんを見て上げてくれ。僕は僕で別に家庭をつくる、失敗しても歸らない』と云つたりそれでも私は毎晩食事の用意をして、更け果てるまでは待ちつゞけました。そんなにも誠心を盡したる夫の心も直るかとはかない賴みであつたのでございます。包み切れぬ時が來て姑にそれと知れた時老人の嘆きと驚きは、涙に馴れた私の目にもいた〳〵しくてなりませんでした。姑は一體信心家でございます。二人はそれから神に祈り佛に祈り。乏しい智慧のありたけを盡しても見たのでしたが、夫は姑の意見にあうたり、私の涙を見たりする毎に、却つて火に油を注いだやうに荒びつのり、この頃はもうあれ程優しく同情のあつた人が、別人のやうに怒りやすく氣むつかしくなつて『家事が上手で裁縫がうまくて文字が書けたつてつまらない、男の性分をよく呑込んで面白くしてくれるのが女だ、三味の一つも彈ける位でなくちや男を休息させると云へるか。そこへ行くと〇〇はさすが商賣だけに心得たものだ』とあたり憚らず罵ります。かうなつては本當に女の道〳〵と几帳面に敎へ込まれて、夫の心をとく〳〵やうな融通の利かない自分が恨めしうございます。三日四日と居つゞける時、下女下男にも恥かしく穴でもあれば入りたいやうに思ひますが、子供がも少し大きくなつて不審を抱くやうになつたらあゝ、私は何と云つたらいゝのでせう。今日この頃のやうな名ばかりな夫婦生活に、いかに服從を敎へられた私も、どうして堪へて居られませう。いつそ離縁しやうかと思ひますが、無邪氣な子供の顏を見ると決心が鈍らされます。老いて淋しい姑のためにも私は心強くなることが出來ません。思ひあまつて實家の母に相談しましても『男には有り勝なことだ、妻はたゞ忍耐が大切だ、女の道を忘れてはならない』と母の云つてくれることはいつも定まつて居ます。あゝ女の道、女の道も盡して居ますれど。

罪を自覺した妻の煩悶

悲しき女

晴天白日の身といふことを、昔は何の氣もなく聞きましたが、氣のついた時私はもう晴天白日の身ではありませんでした。今この紙にうつすのが、哀れな私共夫婦から暗い悶を世に洩らす初めてでございます。

私がまた實科女學校に通つて居ました十六歳の或日のこと、遠縁に當る〇〇家へ行くからと學校を休ませられましたが母に連れられて行つて見ると、不斷は居ない筈のその家の長男も歸つてゐます。私をその人の嫁にといふ話は、幾度も聞かされてゐたのでしたが、結婚の意味もよく分らない程幼稚であつた私は、たゞ學校を中途で止めるのが惜しく、父がその家に三百圓ばかりの借金をしてゐる處から、強ひての所望を斷りかれるといふやうなことも耳にしてゐましたので、それまで何時もろくに受付けもしなかつたのでございます。その日私は何といふ愚かなことをしたでせう、氣のついた時母はもう歸つてしまつて、家中のものが寄つてたかつて私を留めます。もと〳〵往つたり來たり泊つて行くことも珍しくない間柄でしたから、別段の不審も起こさずその夜はそこに泊められましたが、今思へば尋常では聞かぬと思つた周圍のもの〻計略にかゝつたのでございました。私は嫁に迎へられたのだといふこと、私の貞操は否應なしに破られてしまひました。口惜しさに悶えながらも、きびしい監視を破ることが出來ず、二日はそのまゝ過ぎましたが、三日目にとう〳〵少しの油斷をみつけて逃げ出し、泣き〳〵宅に歸りますと、父母の怒りは非常なもので、私はさん〴〵ひどいめに逢はされました。しかし再びその家に歸ることだけは免れたのでございます。兩親はあくまで歸らせなくてはならないと、頑張つたのでしたが、先方の親から逃げて歸るやうなものは望みがないからと斷つて來たのでございます。先方の當人はどういふものか非常に私を慕つてゐたといふことで、子供だから貰つてしまへばと思ひ、私の兩親の方でもやつてしまひさへすればどうでもなると思つた双方の當てが外れてしまつたのでございます。何も知らない私はたゞ胸一ぱいの反抗心から、いゝ氣味だ位の考へで濟んでしまつたのでした。こんな内輪の出來事を世間は少しも知りませんし、まあ誰も知つた譯ぢやないからと兩親も胸を撫でゝ辛抱し、かうした行きがかりから止むを得ず田地を賣つて借金を濟ましましたが、翌年の四月、私が暫く休んでゐた學校から私立の女學校に變つて間もなく、父は果敢なく世を去つてしまひました。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

今の夫と結婚しましたのは、二十一の春でございました。反抗心ばかり強かつた私も、年と共に人情のあやもおぼえ殊に夫の正しい精神に導かれて次第に落ちついて自分を省みるやうになるにつれ、たゞ一場の悪夢のやうであつた當時のことを思ひ出して、初めて罪を感じるやうになつたのでございます。しかし心一つにひそめて不安な幾年月は過ぎ去り、二人の女子を擧げましたが、子供を得た喜びを語るはしにも、夫の神聖な貞操觀がよく現はれます。再婚した母によつて生れた子供に、先夫の血の影響せぬと信じられないといふことなど語る時の私の辛さ、だん／＼受け應へが鈍つて怪しまれるやうなことが幾度あつたでせう。夫は私をあくまで初婚だと信じてゐます。知らぬと云つてもあんまり子供らしく不用意であつた自分を嘆き世間の人は誰も知らないからといつて、私に二重の罪を負はせた父母を恨み悶えて日々につのるばかり、とう／＼正しい夫を欺くに堪へず、或夜思ひ切つて殘らず打ちあけ、罪のさばきを乞ふたのでございます。あゝその時の夫の驚き嘆き、私はもうこの身を八つ裂きにしても足りないやうに思ひました。しかし夫は考へに考へた上で許すと云つてくれました。私の苦しみがそれで少しでも樂になつたでせうか、夫の許しが非常な苦術の中から出てゐるのを思ふと樂になるどころか平穏な顔をしてゐられる時にもその胸の中を思ひやつて、ほろ／＼涙がこぼれて來ます。私の泣くのを見て夫は憐れんでくれますけれど、これまでのやうな晴れやかな濁りのないもので、二人の結合はもうなくなつたやうでございます。不斷は何事も起りませんが、若い人の結婚の話など聞きますと、夫の顔は暗くなりお互ひに何とした不幸な人間だと云はれるのを身を切るやうに辛うございます。誰れそれの醜悪など、同僚の方が遊びにいらしつて話のはしに出る時など、聞いてゐられる身ではないと耳を押へて逃げたくなります。明るい春の光に照らされても、私も枯れ落ちる秋の葉のやうに淋しく暗がりでなくては顔も上げられないやうな氣がします。もしも最後の一滴までこの血を洗ふて消えるものなら、私は生命を惜しみませんけれど、一旦犯した罪は生死を離れても滅びるものでないてのしたら、あゝ私はどうしたらいゝのでせう。

子供のない夫婦の煩悶

はつ子

私共は結婚しましてもう十一年になります。よく皆様から『あの位都合よく揃つた夫婦は珍らしい』と羨やまれますがほんとに私共は何につけてもよく一致します。まづ趣味の方面だけを考へて見ても、主人の尺八に私の琴三味線、謠に鼓碁も四目程おけば勝つたり敗けたりて面白うございますし、球もお互ひに少々は突けるといふ具合てございます、けれどたつた一つ與へられぬものゝあるために凡ての喜びが消えてしまふやうな果敢なさを感じなければなりません。あゝ私共はいまだに一人の子供もないのでございます。主人はすぐれて健康で、着物のたけも三尺入すといふ立派な體格です。子供の時分に大病をして今も少し瘦せ氣味な私は、罪を一人で感じて温泉にも行つて見ました。おまじない、御祈禱、つまらない迷信と知りながらも心の弱味に強ひられてよいと聞いてはして見なくては氣が濟みませんでした。遂に實家の母の反對もかへりみず、腹部切開の大手術を受けましたが、十の內九まで有望だと喜ばせてくれた醫師の言葉も私には、とう／＼實現されません。

主人は長男ですから代々の血統の、自分によつて絶えるのを殘念がり故鄕の姑も孫の顔を見ない中は眼がふさがれないと、便り毎に書いて寄越します。しかしもう諦めるより仕方がないのですもの實家の母にもすゝめられて、主人の姉妹や弟の子を貰ひませうと申し出して見ましたが『いくら同胞の子でも貰ひ子はいやだ是非自分の子が欲しい』と何事にも一致する主人がこればかりは反對で果ては『お前に出來ないなら他の女にでも欲しい』と意外な言葉に、私はハッと淋しい氣持に襲はれました『子供さへ出來れば女は金で別れゝばいゝぢやないか、しかし藝妓上りやすれ枯しではいやだといふのでございます。十一年も連れ添うてその人格を信じてゐた私の夫が何處にそんな心を持つてゐたのだらうと私は呆れたのでしたが、主人は一向平氣でした、主人は私達の犠牲にされた女がその先どうなると思つてゐるのでせう、いゝえそれよりも女といふものはそんなにしてもよいものだと思つてゐるのでせうか、私は今日まであつく／＼身に受けてゐる夫の愛を眼を開いて見直さなくてはならないやうな恐ろしさを感じます。でも弱い私は姑をはじめ一族の人達から子供子供と責められますと、つい主人の平氣さに誘惑されさうになつたこともありましたが、愈々さうなつたらと想像しますと、又新らしい苦しみが湧き出すのでございました。もしや夫の愛が子供にひかれてその女に傾くことがあつたらどうしやう、その時私は床の置物のやうに空しく飾つておかれるのではないか、金で別れゝばよいと考へてゐる夫は私には妻といふ籍さへ與へて置けば濟むなどゝ考へるのではないか知ら、私は一層切ない思ひに突き當つたのでございますあゝ純潔な夫婦の仲を汚してまでも、子供はなくてならないものでせうか、子なき女は去ると昔から云ひますけれど、諦めと同情を全くとり去つた赤裸々の私の心からは、どうしても夫のさうした心持を許すことが出來ないのでございます。

實家の母も弱い私をはげまして、はつきり主人の說に反對してくれましたので一時はそのまゝに濟ましたが、賴母しかつた母が昨年の春世を去つてから、私はまたその問題を持出されました。今度は主人も四十に近づく心細さから一層態度も强うございますし、姑をはじめ一族の人達も口に出して贊成こそしませんけれど、決して不贊成でないのは見え透いてゐます。その無言の勢力に私はともすると押されさうになります。自分が産み得ぬといふひけめが、かうも私を弱くするものかと情けなうございます。

娼妓病院手記（五）

前某驅黴院看護婦　田口和子

二十二日（月曜日）

今日は何時もより早仕舞ひなので、歸り仕度をして階段を降りやうとする時、ふと耳に入る四五人のひそみ聲、何氣なしに耳を傾けると、何うやら梅勇さんの自由廢業に就ての相談らしいんです。態とらしい猫撫聲の週旋人のいふやう『斯うなれば仕方がないから、懲役に遣るとか何とか云つて、ウント脅すんだね。そして其儘座敷へ出せば機嫌が直る内に、又た考へ直して素直になるだらうと思ふ。その時朝鮮なり滿洲なりへ賣飛す方が良いと思ふ』と意氣巻くんです。すると抱主は『處が却々そんな譯い譯には行かぬから駄目なんですよ。年齡は若いけれどもあれてゐて却々の剛情で理窟屋で話の片付く迄は此處を一寸も動きません杯と頑張るんだから手に負ひないんでサ忌々しくてならないから餘少程叩いて遣らうかと思つた事も再三度はあつたけれども又た此の上其樣な事を楯に取られて警察や裁判へ行つて兎や角云はれてはと思つて控えたのだが、全く彼の奴には私も殆ど手を燒いて了つたよと太い溜息を吐いてゐましたが、正副の兩取締役は『藝妓ちうても今時にお客を取らん家が一軒だつてあるもんか娼妓と少しも變らん事は其の筋でも最う公然の秘密になつてゐる筈なんだから、裁判を起してウント懲らしめて遣るが良い』と自分勝手なことを並べてゐるのです。すると此の話を聞いた抱主は憐れぽいやうな聲て『イヤ裁判ばかりは孫末代起すもんじやありませんから、それ丈けは何うあつても遣らない考へです。全く裁判許りは骨折損の足勞儲けで酷い目に會はされる許りでなく身代までが潰れて畢ひますから』と、他の人達の意見を抑けてゐましたが、それには然う考へる丈けの理由があつた事を私は追懐しました。忘れもしない昨年の二月頃、同じ抱妓の十郎さんが、或る時抱主の横暴と殆ど胡摩化的な計算とに酷く考へさせられそれからといふものは毎日線香の上り代から食物の類迄一々日記に書いて置いたさうです。然う斯うする内に一ヶ年間許り經ちました或日の事、それを計算して見ると既うに借金は返濟ずみの事になつて居りますて、驚いたり嬉しがつたり早速、廢業届を其の筋へ提出して難なく自廢して畢つたんてす。驚いたのは抱主で、其の樣な筈はないと許りに早速訴訟を起して爭つたのですが、何分にも日記に記入してある事が物を言ふので、遂に抱主は費用倒れに終つた經驗があるからなんです。

二十三日（火曜日）

薫さんが豊前田遊廓へ住替した事情を聞かされて可哀相でならなかつたのです。そして此の人の處へ女文字其儘で書いた厭世的な長い手紙が毎日のやうに來るので、益々悲觀して居られるやうですから、私は或る人から勸められて或る日の事基督の福音の事を詳しく書いて彼の女の手紙と同封して出したところが今日その返事が私の處へ來たのです。開いてみると垢の他人の私に與へて下さる同情は誠に有難いが『クリスチヤンは全國の醜業婦全滅を盛んに遣つてゐるやうである。現に救世軍や婦人矯風會等に於ても運動してゐられる事ながら、哀れな彼の女の身の上へは何卒左樣な事でなしに、餘り酷い目に會はせずに愛してやつて下さい』といふ句があるのです。私は此の一句に胸がキツトなつたのです。誤解も又た甚しいといふ私の抑へ切れない憤滿は遂に面に表はれ私は思はず齒を喰閉めて涙を流さずには居られなかつたのでした。意外の事に彼の女も驚き種々と辯解じみた事を申しまして、今度男に會つたらクリスチヤンだからと云つて、然う無闇に全滅する手段をして醜業者を酷い目に會はせるやうな事はしないし、それどころか却つて普通人より私達の身の上を愛して下れるからこそ、嫌な思をして送る日のないやうにと私達を助け下さるのですから、安心して居らるゝやうと力添えをして下さるのですと。かよわい彼の女の現在の生活、それが彼の女の運命の全部なのでせうか、彼の女が日毎夜毎に涕り泣く其の涙を眞に見た人があるならば此のやうな憐れな境遇に置かれないものを、私は彼の女が私を慰めて下れる其の言葉の中に自分自身を蔑むてゐるのと自暴自棄に陥りつゝあるのと、他人に憐憫を求めやうとするのと、社會人類と自己とを呪ふやうな種々な複雜した一つの響を聞くやうな感じがしたのです。

二十五日（水曜日）

朝の通勤の時、遊廓の通路に稍々暫くの間佇むで靜に其の有樣を見ると、何といふ淺間しい事なんでせうか。今日は熱々捨鉢な女の素振と、女に浮身を窶してゐる遊冶

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

郎の態度とを見比べました。客を送り出す多くの彼の女等は、客が車などに乘る迄は『又た入らしやい。乾度ですよ、、よそへなど行つたら取り付いて遣るから覺えて仰居しやい。眞直に歸らないといけませんよ』杯とお世辭の有りたけを並べ盡すのですが、車夫が梶棒を上げて二三間驅出すや否や、赤い舌をペロリと出すのです。そして唾を掌に吐いてそれを兩眼に塗る眞似などをしては、他の朋輩同士と脊を叩合ひ乍らキヤツ〳〵と笑ひ興じるのです。私は其の有樣をボンヤリ眺めて居りますと向ふから秀奴さんといふ藝妓が來て私が何の爲めに其處に立つてゐたかを察したやうな冷笑をするのです。そして『男なんてふだんは隨分憂らさうな事を云つてゐるけれど此處へ來ては全く有りだけの恥を曝らした上に、有金をみんな搾られ、其の上空世辭を眞に受けてホク〳〵しながら歸つて行くのを見ると全く情ないものだわネ。それでゐて吾こそは日本一のいゝ男といふやうな風をして、車に反身になつて歸る處を見ると何んて馬鹿なことなんだ、かホントに口に言へない程慘めなものじやないの』と私に訴へるやうに云ふのでした。私も今更何と云つて評してよいか判らない、最前から見た有樣に就ては同感なのでした。軈て彼の女が洗滌へ來た時『今日はほんとうに惡い所を見られて恥しくて仕方がなかつたワ。――でもネあれは私のお金の第一號よ』といふ。――金の第一號。何の事やら判らないので聞いて見ると、彼の女等の間では各自のお客を一號二號三號といふやうにそれ〳〵番號を附けて置くんださうです。何時も遊興費の多い第一號で其の次が第二號といふ事になるのださうです。けれども彼の女等は情と金とをチヤンと區別するのださうですから、私達にはどんな心持ちで居ればそんな事が出來得るものか、殆ど想像が付かないのです。而してそれに就て斯ういふ說明をしてゐるのです。『それは昔から唄の文句にある通り、色男金と力は無かりけり。で、此方が少したのもしい男だと思ふと必ず、然ういふ男に限つて金はありません。嫌だと思ふ男には仕方がない程金があるのですから、全く世の中は思ふ樣にならないものなんです。ですから金のある客は出來る丈け多く使はせたいと考へて、朋輩や仲居などを連れて寄席や芝居へ連れて行つて遣つたり、又た種々の品物杯を買はすやうに仕向けるのです。然うやつて苦心して搾り上げた金は、情の第一號の方へつぎ込むのですが、他目から見れば馬鹿々々しい事をやつて貽がつてゐるやうに見えますけれども、此處に居る人達は大概斯ういふ事を遣つて氣慰めをするのです』といふ話を詳しくして呉れました。斯樣話は前にもチヨイ〳〵耳に挿むだ事がありましたが、よもや斯うまで一生懸命の仕事のやうに遣らうとするやうな事を聞いたのは初めてゞした。私は驚異の眼を瞠はつて他の若い妓に尋ねましたところ『私達だつてあるワ始めは姐さん達から教はつたのヨ、先達なども姐さん達の眞似をして、お金の一號にウント金を使はせて外の客に遣らうと思つたら、私の遣方が恐かつたので疑はれたのです。私は仕方がないから、姐さんに此の事を話すと『髮は延び物、身は大事』て事があるから、心中立てゝも厭やせないといふ心立てを見せる爲めに、お前の髮の毛でもお切りなといふんです。私は髮の毛を切るのは厭だと云ふと、お前ほんとうの髮の毛を切つて溜まるものかれ、薬に入つてゐる「かもじ」をお客の前で切つて見せて、此の通りですからと云つて、お客に渡せば良い。と云ふので、それを遣つたのよ。さうしたらお客が吃驚して大變だつたワ、今でも其の髮の毛を大切に持つてゐるんださうですが、ほんとうに變だわネ男なんてものは』と、脣紅を衝いて出る言葉は何と評してよいやら、全く私の心臓が一時鼓動が鳴り欲むだなてありました。何といふ恐ろしい事なんでせう。『隨分頭な事をするんですれ』と聞けば『これが私達の商賣なんですもの仕方がありませんワ。男を手玉に取る事が上手にならなければ親元へは何時になつたつて歸る事が出來ないからお前達はウント男を手玉に取つて何時もお客のありたけの金を使はせなければ駄目なんだと。親方が云ふんですもの。だから何でも構はないからお客の金を使はせる丈け使はせて了ひば親方はそれで喜んで居るのです』と斯うして若い女は漸次深みへ落ちて行くのです。否な彼の女等許りか彼の女等のいふ、所謂金の第何號も情の第何號も共に相に、知らず〳〵の間に奈落の淵へ沈められて了ふのです。物質萬能の現代に貞操の尊さを耗くので時代遅れの感があるやうに冷笑する人達の多くが、最う少し男女の問題に就て眼が覺めて欲しいのです。彼の女等の相手になる多くの男子達は、自分達の行爲が社會の通り相場だと思つて、大手を振つて遊興三昧に浮身を窶す秋、社會の一部に理想主義思想の所有が埋れてゐる事を考へて頂きたいのです。

能代廓淸會支部成らん

淺野吉十郎氏の熱心なる活動は愈目覺ましく今般左の如き風紀刷新問題の具體案を作りて着々運動せられつゝある

一、風紀刷新の講演會を本月廿六七八日三夜に渉りて開催し輿論を喚起したり

○風紀問題と愛鄕心　熊谷直秀○衞生上より觀たる風紀問題　松野一也○風紀刷新の根本問題　大阪喜內○青年の自覺に風紀問題　和田諗造○花柳病と風紀問題　山田哲一○賣笑婦と風紀問題　山形警察署長○町當局と風紀問題　今立豐吉○青年の修養と風紀問題　青木喜久之助

二、風紀革新の方法として警察側の後援協力を求む、

（イ）遊廓に巡査を派して青年遊蕩者を調査し不良者の姓名住所を青年團に通知を乞ふ

（ロ）警察より通知ありたる者に青年團は當人並に父兄に警告反省を促す

三、團員制裁及註

（イ）各支部共に團員の素行調査を行ふ

（ロ）團員にして素行不良の者ある場合再三これが反省を促し其の猶改めざるに於ては除名絕交す

四、青年に適切なる運動慰安法を講じ併せて鄕土弊風打破の法を立つ

（イ）青年運動法の詳細は幹部會に熟議す

（ロ）差當り先づ擊劍相撲の類と選ぶ

（ハ）夜遊びの風習打破につとむ

（ニ）有志朝起會を起す

五、勤儉貯蓄の精神涵養につとむ

（イ）幹部貯金方法を立て漸次支部團員に及ぼす

六、風紀刷新問題につき聯合青年演說會を開催す

（イ）七月上旬其の日を期し各支部一名出演風紀刷新の演說を開く

七、各村青年團と連絡活動を計る

（イ）能代青年團の主張を徹し協調蹶起を求む

八、廓淸會能代支部設立を助く

（イ）九月山室軍平氏來能を機とし廓淸會支部を設け其の本部と連絡して永く風紀刷新運動につとむ

（ロ）廓淸會支部を設くるに就いて勿論相談の上發起人を定む可きも青年團はこれが中心活動を認む

（以上）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

□丹羽清次郎氏が此間東山荘の夏季學校で講演をせられた其中に日本は精神上世界の何れの國からも信用せられずと言はゞ精神上破産した者であると言はれた。米國からは排斥せられ、濠洲からも逐出され、同文同種の國民だなど、言つて居る支那からでさへ排斥を受けて居るのみならず、多額の國帑と多數の生靈を犠牲にして援助の意味を以て出兵までなしたる西伯利の住民からさへ厭はれ居る狀態で、版圖内の朝鮮人に對し之を敎化することも出來ず先頃の樣に到る所に暴動が起つて世界中に日本の無能を曝け出したので、日本は精神上破產したと言はれても辯護の言はないだらう。そして政治家は現内閣が無能だからだと攻擊するがかく成つた原因に就いては決して一朝一夕の事でない。日本人の至る處には必ず醜業婦が先驅をなして居り、國内の各都市には所謂遊廓なる淫賣所を公然と許して居る。そして上流の所謂紳士とか言はれる者は外妾とか言ふ者を蓄へて獸類の樣な行をして平氣で居る。精神上にも道德上にも破產の境遇に陷るのは當然の歸結で今更驚くには足らぬ。苟も日本人として又は日本國としての品位を高め、世界から尊敬を受けざるまでも、少くも輕侮せられない樣になるには軍艦や飛行機の數の增加では駄目である。先づ第一に此の害毒より脫却して各々が眞人間とならざる限り恢復は到底望まれないと思ふ。

□去年は米價が高くなつたので之を廉くせんが爲に換言すれば米價を引下げて吳れとの要求から米暴動が起つた。本年は米價益々暴騰して圓に一升五六合しかしなくなつたが　米暴動は起らぬ、何故であらうか。暴騰は單に米ばかりではない。有ゆる物價が高くなつたのであるから獨り米價ばかりを引下げても迚もやり切れないと悟つて、所得の增加を謀らればならぬことになり到る處に賃金値上げを要求し聽かれざる時は直ちに同盟罷工を起し資本主を威嚇することになつた。そして是迄は同盟とか罷工とか云へば蛇蝎の如くに畏れ嫌つた政府も當然の要求だから仕方がないと言つて治安警察法も何も棚に上げて終つた時世が變れば變るものだと思ふ。

□同盟罷工の成功したのは近くは博文館の活版職工の其である彼等は十何ヶ條の要求を悉く貫徹し得たので勞働者側から言へば痛快である。聞く所によれば此の成功の爲に市中の活版職工が一齊に博文館の職工同樣にして吳れとの要求をなし今尙罷工騷ぎをなし居ると云ふ。現に本誌の印刷所の如きも其騷ぎで出版が後れたのであるが、其が新聞社の製版職工に飛火して市中十六新聞社が一日より一枚も新聞を發行することが出來なくなつて今尙ゴタ〳〵して居ると云ふ。是は實に前代未聞の出來事で、先年の電車ストライキと共に年代記に特筆すべき者であると思ふ。然し同盟罷工をして迄も賃金の値上を要求せねばならぬ程彼等の所得は少いであらうか、頗る疑ひなき能はずである。如何となれば東京の各遊廓で登樓客が少しも減つて居ないと云ふ事である。其は兎もあれ近時の同盟罷工を正當の要求として許した警視總監は、絕對に自由を束縛されたる奴隷的境遇に泣いて居る全國幾萬の娼妓の要求を何と見るか、聽きたい者である（傳助）

新刊紹介

▼**佛心鬼語**（高島米峰氏著）、

讀んで字の如く佛心を以て現代を痛罵したもの、先生獨得の輕妙と深刻とは今更贅するの必要はあるまい。金鐵を溶かす炎熱も本書の痛快味に接すると腋下自ら凉風を生ずる。（小石川區原町丙午出版社發行四六版三百四十七頁）定價一圓

▼**男女道德講話**（一條忠衞氏著）

倫理學者は多いが特に男女道德を專門として研究せられた人は此の外にない。氏は實に我國に於ける唯一の男女道德の學者である。其の片影は每號本誌によりて諸君の知らるゝが如くである。男女道德論と共に會員必讀の好著である。（神田區表神保町大同館發行、四六版五百八十頁、定價金貳圓）

▼**基督の精兵**（山室軍平氏著）

先生の思想並に信仰と其靈筆は既に定評がある本書は「ときの聲」に揭げられた說教の内五十二篇を集めたものである。（京橋區築地救世軍本營發行、四六版三百七十七頁、定價六十錢）

▼**モーゼが修學せし國**（安中花子譯）

譯者は婦人矯風會の文書部長で、同會機關誌上に每號優麗な筆を奮て小說を書いてゐる人、原著は英國に於て評判せられた名著、山室氏の依囑によつて譯せられたもの消夏の好讀物。（救世軍本營發行、四六版百五十一頁、定價八十錢）

▼**イスラエル物語**（大橋房子著）

婦人矯風會が懸賞を以て男女貞操論の募集を全國學生にした時、多くの男子を一蹴して一等の榮冠を贏ち得たのは女史であつた。女史は卒業後矯風會に働かるゝ事となつて今度此著を公にされた。小說としても小傳としても面白く、修身書人文史としても有益な著である。（京橋區尾張町警醒社發行、四六版四百八十頁定價金二圓）

大正八年八月九日印刷
大正八年八月十日發行　（每月一回十日發行）一部定價金十錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局四〇五五番
振替東京二七〇七二番

◎廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」による旨御申添を乞ふ◎

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——>Dr. K. TAKATA<——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

診察每朝及每夕　但祭日及日曜の他

院長　診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町 二六二番 一五一六番

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察每日午後　但祭日及日曜の他

5—288
世界的日本名物
クラブ歯磨
クラブ歯磨は日本で出來た優良商品の模範として世界市場に日本の歯磨を代表し日本製品の信用を高めつゝある一等歯磨

定價壹冊金拾錢